

第4章 特徴的な取組の紹介

児童生徒の「学力」と「自己効力感」を伸ばした学校の実践を紹介します。

各学校において、本章で掲載されている児童生徒の学力の伸びを引き出した効果的な取組を、今後の取組の参考としてお役立てください。

今年度は、以下の8校の取組を紹介します。

新座市立池田小学校	狭山市立水富小学校
本庄市立本庄西小学校	蓮田市立蓮田南小学校
蕨市立東中学校	所沢市立富岡中学校
上里町立上里北中学校	羽生市立西中学校



新座市立池田小学校の取組

1 学校の概要

開校 51 年目を迎える本校は、新座市の南東部に位置し東京都に学区が隣接している、児童数 462 名、学級数 19 の学校である。「教職員の率先垂範」「有言実行」「積極的地域対応」「現状打破」「人権感覚」「凡時徹底」の 6 つのキーワードを経営方針として掲げ、学校教育目標「健康でよく学ぶ 心のゆたかな子」～「やる気 ゆう気 げん気あふれる池田小学校」～の具現化を目指している。

今年度は、「Society5.0 時代を生き抜く児童を育てる池田小学校ー学習の個別最適化・多様な協働学習の創造ー」をスローガンに掲げ、ICT 機器の活用による授業改善及び働き方改革を進めることを明確に定め、児童が学習・運動に積極的に取り組めるように指導を行っている。



【池田小のシンボル やまざくら】

2 令和 4・5 年度の結果

小学校 5 年生→6 年生の取組 【算数】

(1) 学力の伸びからみられる特徴

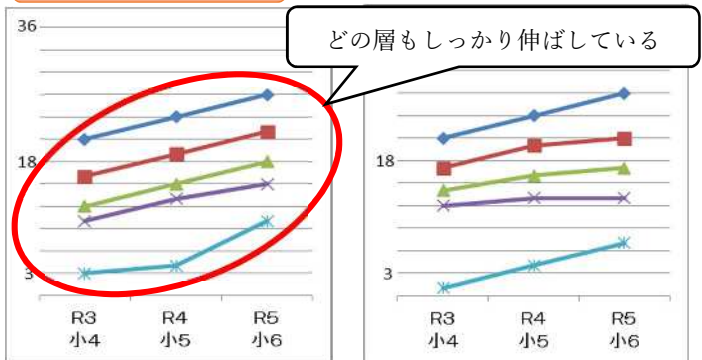
今までの学力の変化



学力の伸びの状況

新座市立池田小学校

埼玉県



自己効力感	小5		⇒	小6	
	自校	3.4	+0.3	3.7	
	県平均	3.3	+0.2	3.5	

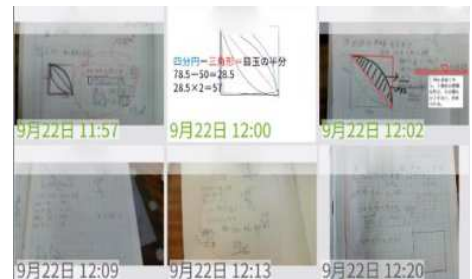
小4時は算数の学力レベルが県平均を2下回っていたが、小6時には逆に2上回った。どの層の児童も学力を伸ばしているが、特に小5から小6における下位層の伸びが著しい。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア T・T (チーム・ティーチング)、少人数指導及びICT機器の活用

【ロイロノートで考えを共有】

算数専科を配置してT・Tを実施している。単元の内容や各学級の実態を考慮しながらT1が「考えるのが楽しい算数・分かると嬉しい授業」を展開し、T2が躓いている下位層の支援を行っている。問題演習の時間は習熟度に応じてグループ分けを行い、個に応じた支援を行っている。ロイロノートを活用して、自分の考えを記したノートの画像を提出させることで、画面共有機能を用いて互いの考えを見合うことが可能となり相互理解を深めることができた。



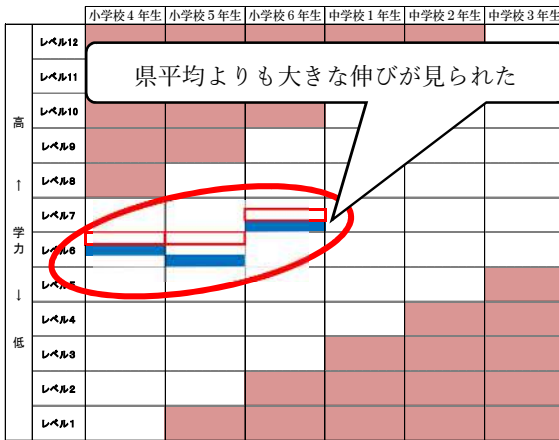
イ 自己効力感を伸ばす取組 (3段階ドリル学習:教科書→プリント→AI型ドリル/放課後算数教室)

教科書の問題については途中式や説明などを含めて添削を行い、正解するまで支援を行っている。その後プリント学習に取り組みせ、全問正解するまで反復練習を教師が見届けている。指導を行っている。新座市で導入しているAI型ドリルを積極的に使用し、「Qubena マネージャー」画面を活用し児童の取組状況を確認している。躓いている児童を対象に、算数専科による補充学習を休み時間や放課後に行っている。「できるまで解く・分かるまで解く」を合い言葉に、児童は粘り強く取り組んでいる。この取組は4年生より実施しており、日々の積み重ねが児童の学力向上に繋がったと考える。

小学校5年生→6年生の取組【国語】

(1) 学力の伸びからみられる特徴

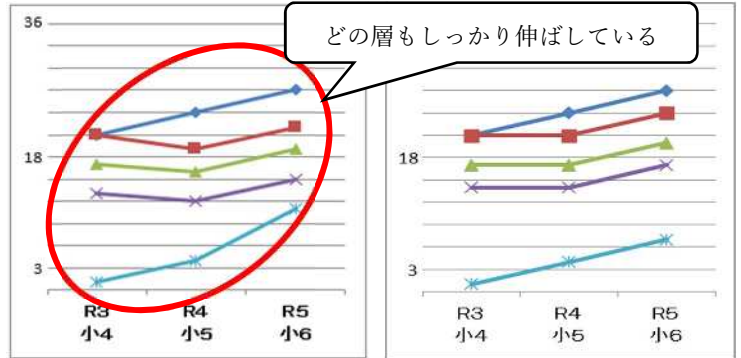
今までの学力の変化



学力の伸びの状況

新座市立池田小学校

埼玉県



自己効力感 【再掲】	小5		⇒	小6	
	自校	3.4	+0.3	3.7	
	県平均	3.3	+0.2	3.5	

小4から小5にかけては学力レベルを1落としたが、小5から小6にかけては県平均の伸びが2に対して、本校は学力レベルが3伸びた。また、全ての層の児童が学力を伸ばし、特に下位層の伸びが著しい。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 埼玉県 HP 上の復習シートやコバトン問題などへの取組

語彙力向上のために家庭学習を充実させることを目指し、通常の宿題以外に補充学習や自主勉強の題材として「復習シートやコバトン問題」を配布し、各自に取り組みさせている。漢字は、テストの回数を増やし、同じ内容を2回行っている。また、学習した漢字は文章に積極的に使うように指導している。辞書を机の側に置き、意味調べができるようにすることで語彙力を高めている。

イ 自己効力感を伸ばす取組(作文の指導)

本校では、新聞の作文コーナーへ欠かさずことなく投稿しており、その取組が5年目を迎えている。毎週テーマを記した原稿用紙を児童に配布して提出させ、必ず添削を行い返却している。児童は返された作文を見ながら清書をして、合格レベルに到達するまで提出を繰り返している。その結果、これまで数多くの作文が新聞に掲載されてきた。この積み重ねにより、児童の作文に対する苦手意識は減り、表現力を着実に伸ばすことができた。

また、国語以外の学習でも、考えや振り返りを書く場面で成果が現れている。



【掲示してある掲載作品】

学校全体での取組

(1) 学力向上に関する校内研修において、児童の伸ばしたい力の確認及び実践

国語	①条件を満たした文を分かりやすく端的に書く力 ②学習した漢字などを積極的に使い、自分の意見を文章としてまとめる力 ③限られた時間で文章や資料を早く正確に読みとる力 ④何について述べられているのか、何を伝えたいのか、何が大事なのか、筆者作者の意はどんなことか等を整理しながら読む力
算数	①文章を数字や式、図で表してその意味を自分で説明する力 ②問題文、表、図形、グラフ等、与えられた資料から必要なデータを選んで問題を解く力 ③自分の考えだけでなく、他の人の考えも説明する力 ④タブレットなどのICT機器を積極的に活用して、相互の考えを伝え合う力



(2) 国語に特化した10分の朝学習の実施

10分間の朝学習を国語に特化し、月曜日は読書、水曜日は国語プリントやA I型ドリル、そして金曜日は書く活動を行っている。



狭山市立水富小学校の取組

1 本校の概要

本校は埼玉県南西部に位置し、開校 131 周年を迎える。児童数 372 名、学級数 14 と各学年、特別支援学級とも 2 学級ずつの学校である。本校は、保護者や地域の皆様から温かく見守られ、教職員一同「チーム水富小」として、目指す学校像「家庭・地域と共に、児童が成長を実感でき、笑顔あふれる水富小学校」を具現化するために日々邁進している。児童も教職員の指導と期待に応えようと直向きで好奇心旺盛な眼差しで、「いつでも笑顔・本気」と「いつでも挑戦・感謝」で勉強や運動、諸活動に取り組んでいる。



2 令和 4・5 年度の結果

小学校 4 年生→小学校 5 年生の取組【国語】

(1) 学力の伸びから見られる特徴

今までの学力の変化

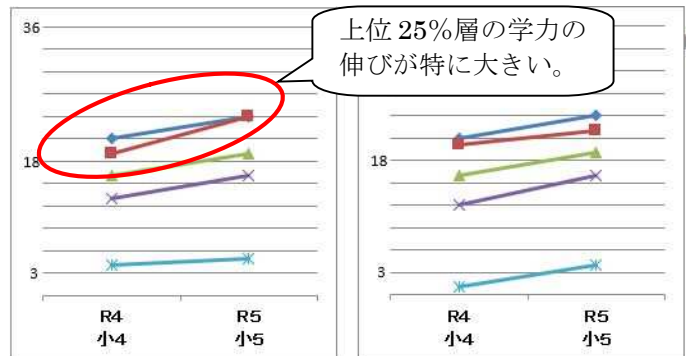


自己効力感	自校	小4	⇒	小5
	県平均	3.4	+0.3	3.7
		3.5	+0.1	3.6

学力の伸びの状況

狭山市立水富小学校

埼玉県



小4時は国語の学力レベルが県平均を1下回っていたが、小5時には県と同レベルとなった。特に上位 25% 層の児童も学力を伸ばしている。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 児童相互の学び合いによる思考整理、教材にしかけをつくる

ペアやグループで話す時間をとることで、思考が整理された。何を書いていいかわからない児童にとっても友達の考えを聞くことでヒントにつながり、安心して学習に臨むことができた。また、教科書に例示されている手本となる教材文の中で、注目させたいところの言葉を意図的に変えて焦点化させたり、順序を入れ替えて提示したりすることで、より気持ちが伝わる言葉や工夫をつかませた。



イ 自己効力感を伸ばす取組（学級活動の充実、一人一役で自分の居場所づくり）

後述する学校全体で取り組んでいる学級活動を充実させた。学期の節目での振り返りだけでなく、クラスをよりよくするため係活動の充実なども話し合いを通して進めていった。

学年全体で「一人一役」を実施し、当番活動だけでなく様々な行事等で実行委員を募り、責任感を高めつつ学級の中での自分の居場所を作り、自分の頑張りで学級や学年全体が伸びゆくことを実感させた。

小学校5年生→小学校6年生の取組【国語】

(1) 学力の伸びから見られる特徴

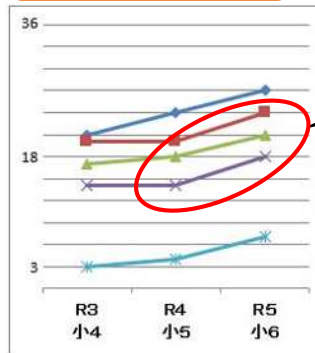
今までの学力の変化



自己効力感	自校	小5	⇒	小6
	県平均	3.3	+0.2	3.5

学力の伸びの状況

狭山市立水富小学校



埼玉県

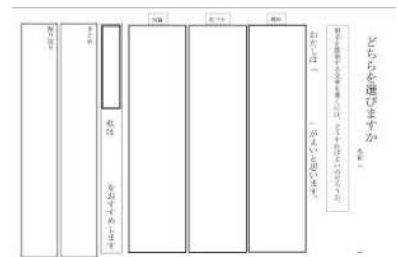


小4時は国語の学力レベルが県平均を1下回っていたが、小6時には逆に2上回った。どの層の児童も学力を伸ばしている。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

- ア 児童の実態に合わせた教材、スモールステップのワークシート
教材を吟味し、児童の実態に合った作文題材にするなど教材研究に努めた。さらに、1単位時間でここまで書けばよいということを明確にしたワークシートを活用した。
- イ 自己効力感を伸ばす取組（学級活動の充実、多角的な視点で良さを発見して褒めて伸ばす指導）

4年生同様、学級活動の充実を図った。さらに高学年としてクラス内の一人一役だけでなく、たてわり活動、委員会活動などでも責任をもって仕事に取り組んでいった児童を褒めて伸ばしていった。時間割を工夫して2学級のよさを生かし担任同士で交換授業を行うだけでなく、専科や教務部の教師も多く授業に入り、複数の教師で児童を見守り、多角的な視点で児童のよさを見つけ褒めて伸ばしていく指導を続けていった。



学校全体での取組

(1) 学校課題研究における全校を上げての国語の授業改善

令和3年度までの埼玉県学力・学習状況調査の結果を分析し、自らの考えをまとめ、自分の言葉で表現する力が弱いことを学校全体で共通理解し、研究主題として取り組んだ。『語彙力等の言語感覚を高め、日常的に自分の思いを書く習慣を身に付ければ、自らの考えを自分の言葉でまとめ、表現する力を育成することができるのではないか。』という仮説をもとに研究を進めた。

仮説にせまるために、①ワークシートや付箋、短冊、構成カードを工夫して作成し、スモールステップによる作文指導、②書き方がわからないという児童のために、文型の雛型を教室掲示して可視化、グループ学習による学び合いを通じた文章校正、③語彙力を高める工夫として、発達段階に合わせて低学年は『言葉の本』などの掲示資料、中学年は朝自習の時間を活用した国語辞典による意味調べ、高学年は自主学习で調べ学習などを具体的な手立てとして取り組んだ。

(2) 自己効力感を伸ばす取組

学級活動の充実、特に学級活動(1)に全学年で取り組んだ。平成30年～令和2年度まで学校課題研究で取り組んだ内容を、研究終了後も継続的に実施した。学級活動(1)を行うことで自分の意見が学級全体に反映されることや、他者と折り合いをつけて意見をまとめていくことを経験していき、自己効力感を高めていった。



本庄市立本庄西小学校の取組

1 本校の概要

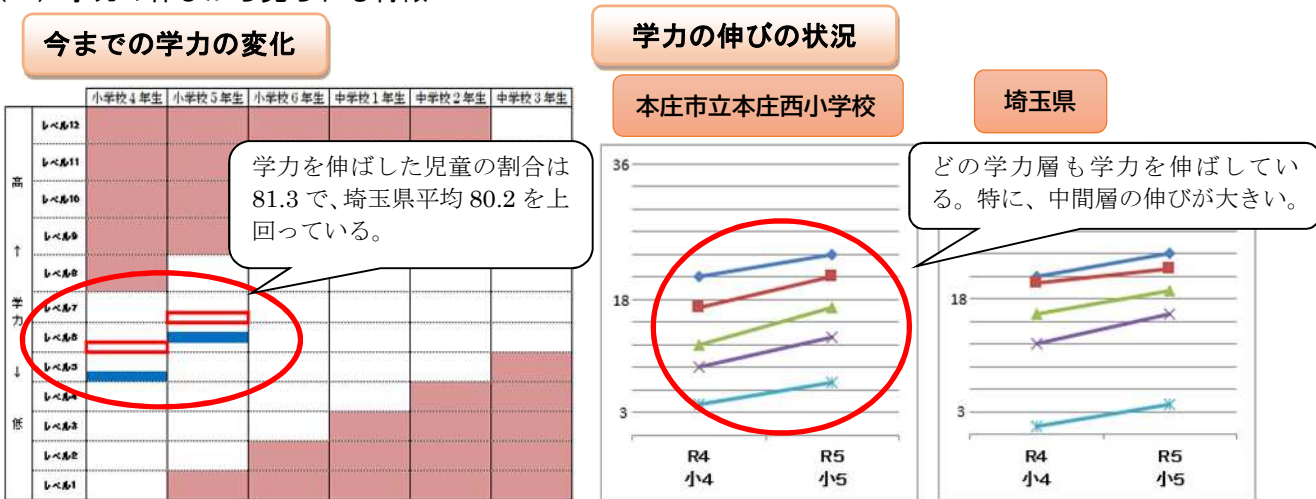
本校は、明治6年に設立され、今年度150周年を迎えた児童数265名、学級数12の伝統ある学校である。学校教育目標「気づき 考え 実行する」の下、全教職員が一丸となり目指す児童の育成に取り組んでいる。本庄市より体力向上の委嘱を受け、昨年度に引き続き今年度も、「自ら学び、自分の思いや考えを表現できる児童の育成～健やかな体づくりを通して」を学校研究課題としている。全ての教科において自分の考えを表現できるよう、学び合う活動やICT機器の利活用等に力を入れている。



2 令和4・5年度の結果

小学校4年生→小学校5年生の取組【国語】

(1) 学力の伸びから見られる特徴



自己効力感		小4	⇒	小5
	自校	3.5	+0.5	4.0
	県平均	3.5	+0.1	3.6

上位25%～下位25%の中位層の児童が学力を大きく伸ばしている。全体的な学力の伸びも県平均よりも大きい。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 「国語のあゆみ」(ワークシート)の作成

物語や説明文の学習では、単元を通したワークシートを作成し、学びの積み重ねを行った。

イ ICT機器の利活用

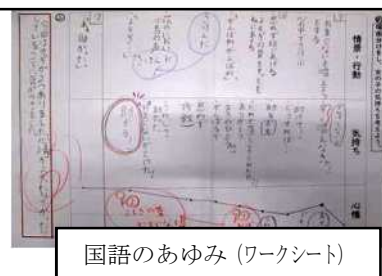
叙述をもとに考える学習では、毎時間ジャムボードやドキュメントを使用し、グループで話し合いながら共同編集することで、自分の考えをもてない児童(低位層)も、考える手がかりを見付けられるようにした。

ウ 学年掲示物の活用、3年生までの復習プリントの作成と活用

県・市で作成している問題集や前年度までの学習問題をもとに、毎日取り組める学習問題コーナーを作成し、下校の際に答え合わせをするようにした。また、1年生から復習プリントを作成し、年度末の授業に活用した。

エ 自己効力感を伸ばす取組(見通しをもたせた、主体的な学び)

本庄型授業スタンダード[めあて→見通し→学び合い/習熟(くり返し練習)→まとめ→ふり返りという授業の流れを徹底した。特に、見通しの時間を大切に、児童が主体的に学べる授業づくりを行った。支持的風土の授業において切り返しの発問をたくさん行い、児童の思考を深めた。総合的な学習の時間、道徳、学活等で考えて話す機会を設け、表現できる児童の育成を図った。



小学校5年生→小学校6年生の取組【算数】

(1) 学力の伸びから見られる特徴

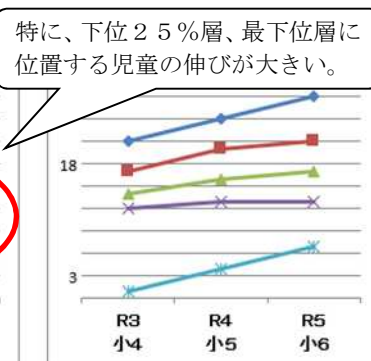
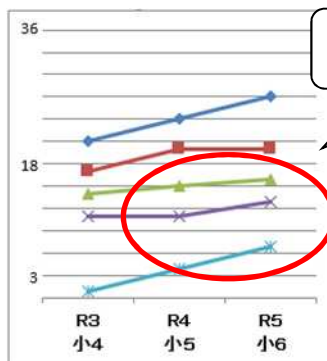
今までの学力の変化



学力の伸びの状況

本庄市立本庄西小学校

埼玉県



自己効力感		小5	⇒	小6
	自校	3.4	+0.3	3.7
	県平均	3.4	+0.1	3.5

前年度大きく伸びた上位 25%層はやや伸び悩んだが、概ね学力を伸ばしている。全体的な底上げが図られてきている。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 児童の「分かった」、「できた」を大切に授業づくり

つまづく児童が多い学習内容の練習問題は、基本的な内容を中心とした。また、児童の理解度に合わせた視覚教材（デジタル教材や自作パワーポイント資料等）を活用した。さらに、毎時間の授業で練習問題を解く時間を設定し、コバトン問題集や自作プリント等を行わせることで、学習内容を着実に定着させた。

イ 第4学年で取り組んだ算数の復習

朝学習の時間に、現在学習している単元に関する計算テストを継続して行い、基本的な計算力を定着させた。計算でつまづいている児童の苦手意識を和らげることができた。

ウ 少人数での学習

第5学年から習熟度別少人数指導や個別指導での補充問題に取り組ませた。文章問題を整理して図に表し、根拠の説明をノートに記述する指導を丁寧に行った。

エ 自己効力感を伸ばす取組（「できた喜び」「伝わった喜び」を体験させる）

低学力の児童には、教科書の練習問題や計算プリントに多く取り組ませ、できたという喜びを味わわせた。また、お互い質問し合い学び合える環境を整えた。基礎・基本を大切に、計算ドリルや計算プリントにたくさん取り組ませた。やり方が分からない時は答えを見て、どのように解けばよいのかを自分で考えてみることも大切であることを指導した。答えにたどり着けずとも、答えを導き出すために取り組んだ過程を大切に、できたところまでを称賛し自信をもたせた。自分の考えを整理し、相手に伝わるように説明させることで、分かってもらったときの喜びを味わわせることで、自己効力感を伸ばすことができたと考える。

学校全体での取組

- 県学調分析シート（色分けツール）、コバトンのびのびシート、コバトン問題集の活用をした。
- 正答率の低い問題を共有し、低学年から継続して授業で取り組ませた。
- 学習に入る前に指導内容を吟味し、確実に身に付けさせる内容と発展的な内容を明確に分け、学年で共通理解を図った。
- 朝学習の時間を使い、学年の課題に応じた学習問題を作成し実施した。



蓮田市立蓮田南小学校の取組

1 本校の概要

本校は、全校児童 667 人、学級数 24 学級の大規模校で、蓮田駅から徒歩圏内に位置している。今年度 150 周年を迎え、学校教育目標「考える子 元気な子 仲よくする子」の実現に向けて教育活動に励んでいる。令和に入ってから4年間は体育科、キャリア教育、外国語科についての研究を行い、今年度からは目指す児童像を「伝え合える子」と設定し全教科を通じて思考力・判断力・表現力を育成する研究に取り組んでいる。

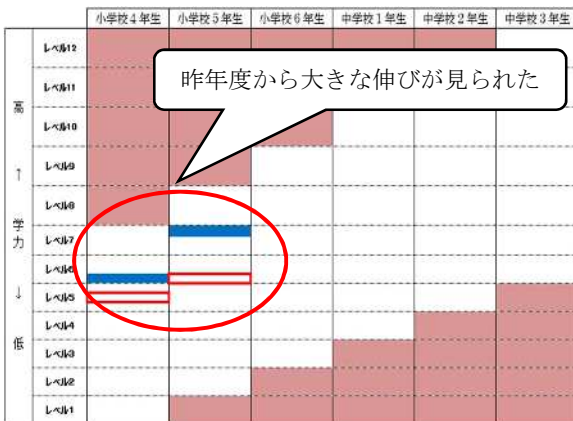


2 令和4・5年度の結果

小学校4年生→小学校5年生の取組【算数】

(1) 学力の伸びから見られる特徴

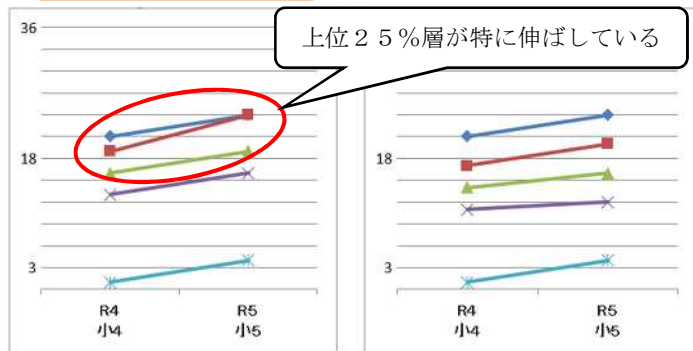
今までの学力の変化



学力の伸びの状況

蓮田市立蓮田南小学校

埼玉県



自己効力感		小4	⇒	小5
	自校	3.5	+0.2	3.7
	県平均	3.5	+0.1	3.6

小学校4～5年生にかけて、学力のレベルが5上昇し、県平均の伸びを大きく上回っている。また、学力の伸びは、全ての層で順調に伸びている。特に、上位25%層の伸びが大きい。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 交換授業

学年内で国語と算数の交換授業を実施した。交換授業とは、A教諭が、同学年の2学級の算数を担当し、同様にB教諭が同学年の2学級の国語を担当するものである。これにより、教材研究が深まり、授業の質の向上につながった。上記は算数についてのデータであるが、国語についても学力のレベルが4上昇しており、効果的な取組であったことを裏付けている。

イ 教材研究ノート

教材研究ノートとは、指導事項や発問、めあて等を授業に備えてまとめたノートである。このような授業準備をする教員が複数おり、若手教員を中心に、この取組が受け継がれている。授業経験の浅い教員も、この取組により、自信をもって授業に臨むことができるようになるとともに、確かな学力を児童に身に付けさせることができた。

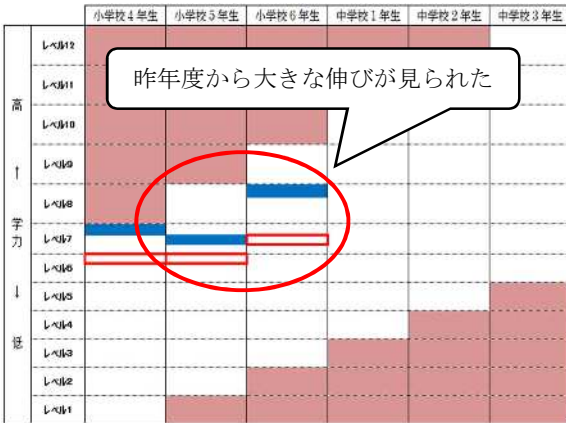
ウ 自己効力感を伸ばす取組（家庭学習で「できた」体験を継続）

教務部の教員が、児童が家庭で取り組んだ計算ドリル等の見届けを丁寧に行った。式や筆算、単位の抜け、また、丸つけが正確にできていない部分などを年間通して指導し続けたことで、家庭学習の質が高まった。

小学校5年生→小学校6年生の取組【国語】

(1) 学力の伸びから見られる特徴

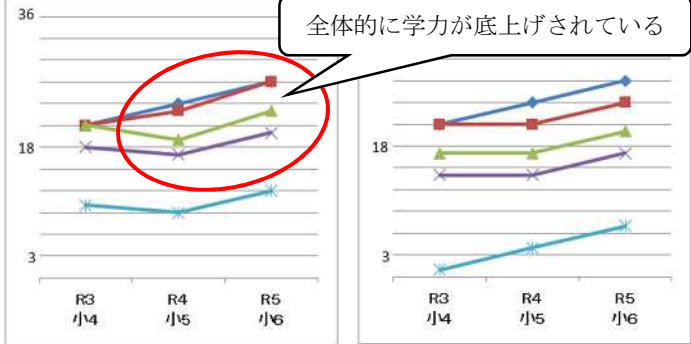
今までの学力の変化



学力の伸びの状況

蓮田市立蓮田南小学校

埼玉県



自己効力感	小5		⇒	小6	
	自校	3.7	+0.2	自校	3.9
	県平均	3.3	+0.2	県平均	3.5

小学校5年生から小学校6年生にかけて、学力のレベルが4上昇し、県平均の伸びを上回っている。また、学力の伸びは、全ての層で順調に伸びている。特に、上位層の伸びが大きい。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 学年で行う教材研究

教材研究を深めるため、学年全体で国語科の教材研究に取り組んだ。これにより、ベテラン教員の経験が若手教員にも伝わり、どのクラスの児童も質の高い授業を受けることができるようになった。

イ 自己効力感を伸ばす取組（自分の個性を知る）

本校は、令和2・3年度と学級活動(3)の授業を中心としたキャリア教育の研究に取り組んだ。研究の視点として「自分の個性を知る」ことに重点を置き、友だちから自分のよいところを教えてもらうなどの活動を積み重ねた結果、自分のよさに気づき自信をもてる児童が増えた。

学校全体での取組

(1) 蓮田南小がめざすアクティブ・ラーニング

本時のめあてを立て、自力解決、考えの交流を経て、児童が自分の言葉でまとめや振り返りを書く。特に大切にしているのが、1人で考える時間である。教室中に自分の考えを書く音が響くほど、じっくり考えさせている。これが、アウトプット力の育成にもつながっている。これを全校で日々着実に積み重ね、蓮田南小のアクティブ・ラーニングを推進している。

(2) 読書貯金

全学年で年間を通して読書貯金という取組をしている。読書貯金とは、児童が読んだ本の冊数やページ数を記録しながら、目標に向けて読書する取組である。目標を達成した児童は表彰され、クラス全員が目標を達成するとクラスとしても表彰される仕組みとしている。

(3) 自主学習コンクール・自主学習会議

3～6年生を対象に自主学習コンクールという取組をしている。自主学習コンクールとは、よい学び方をしている児童のノートを優良ノートとして全校児童に広める取組である。Microsoft Teamsを活用し、オンライン上で優良ノートを閲覧することができるようにしている。また、その児童へのインタビューの様子を全校児童に配信する自主学習会議という取組も合わせて行っている。



蕨市立東中学校の取組

1 本校の概要

本校は蕨市の東部に位置し、開校 63 周年目を迎えた。全校生徒数は 345 人、学級数 11 の中規模校である。

学校教育目標「進んで学習する生徒、明るく心やさしい生徒、体を鍛える生徒」のもと、保護者・生徒・教職員の三位一体による信頼関係の醸成を目指している。令和 4 年度からの研究課題を「主体的に課題へ取り組む生徒の育成～他者を認め、自立ができる個の育成～」と設定し、健全な自尊心の育成方法や ICT の効果的な活用方法などの研究に取り組んでいる。

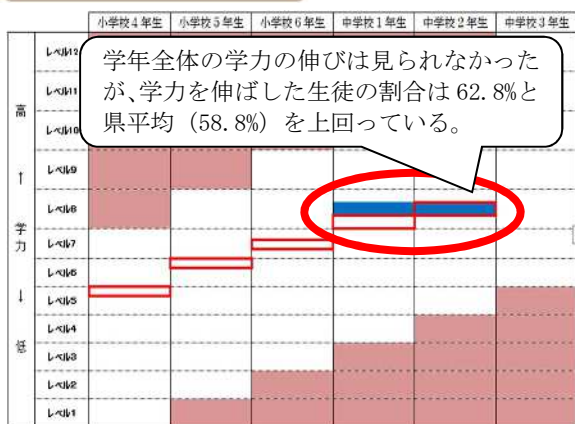


2 令和 4・5 年度の結果

中学校 1 年生 → 中学校 2 年生の取組【国語】

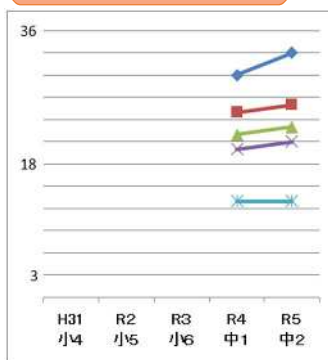
(1) 学力の伸びから見られる特徴

今までの学力の変化

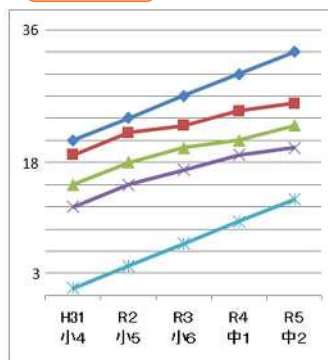


学力の伸びの状況

蕨市立東中学校



埼玉県



自己効力感	自校	中1	⇒	中2
	県平均	3.0	+0.2	3.2
		3.2	-0.1	3.1

○全体的に自己効力感が伸び悩む中で、自己効力感を伸ばしている

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 課題への達成感と主体的に学ぶ態度の育成に関する取組

①毎授業のめあての明確化 ②「しっかり学習すれば答えることができる」という達成感を味わわせ、授業に意欲的に取り組むことができるようにするための毎時間の小テストの実施 ③スピーチ、発表、作文など単元ごとに自分の考えをもつ時間の設定



【学年道徳】

イ 自己効力感を伸ばす学年の取組 (共感的に受容する感受性・意欲等を育成する取組)

①学年全体で互いの意見を尊重し、共感する「学年道徳」の実施 ②自分の大切さを認めるとともに、他者の心の痛みや感情を共感的に受容する感受性・意欲等を育成する「人権感覚育成プログラム」の実施 ③自分自身の好きなことや好きなものを認識するとともに、他者の考えに共感し、自分自身との共通点を見つけ出す「コラージュ作成」の実施 ④帰りの会における「今日の良かった人」の発表や学級会でのリーダー賞の表彰等の実施



【コラージュ作成】



所沢市立富岡中学校の取組

1 本校の概要

本校は、所沢市の最北に位置し、周囲を田畑に囲まれ、農業と深くかかわっている地域である。所沢町立富岡中学校として開校して77年目を迎え、8学級227名の市内で最も小規模な中学校である。「正しく判断して行動できる、心身共にたくましい生徒の育成 ○共に学び考える生徒 ○豊かな感性と社会性を持つ生徒 ○活力あるたくましい生徒」を学校教育目標に掲げ、『心を鍛える三つの心「進取」「親切」「辛抱」』を教育方針に、地域と伝統を大切にする学校である。

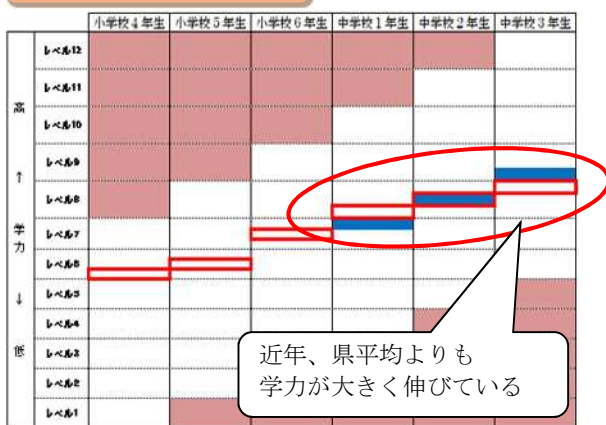


2 令和4・5年度の結果

中学校2→中学校3年生の取組【国語】

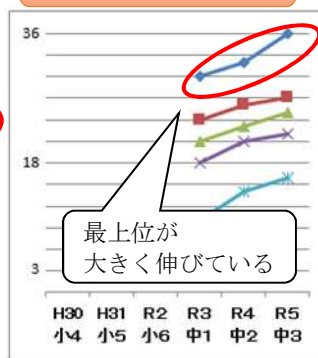
(1) 学力の伸びから見られる特徴

今までの学力の変化

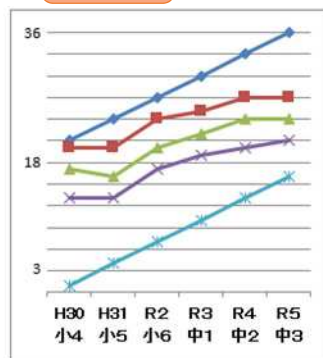


学力の伸びの状況

所沢市立富岡中学校



埼玉県



自己効力感		中2	⇒	中3
	自校	3.1	+0.3	3.4
	県平均	2.9	+0.2	3.1

- 県平均よりも、自己効力感を伸ばしている。
- 最下位層の底上げも顕著である。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 3学年共通で行っている授業形態

授業の初めの5分間で漢字練習を行っている。その際、①漢字を書く②漢字の読みを声に出して読み、耳で聞く③辞書を使って調べる、の3段階で行い、「書く」、「話す・聞く」、「読む」に係る資質能力の育成をまとめて行っている。

授業では、「どのように社会生活で活用できるか」という観点から、「めあて」を共有し、授業終わりの「まとめ・振り返り」に向かって、毎時間取り組んでいる。

授業内では、個人→小グループ→クラス共有の順で学習活動に取り組み、問題を解き終えた生徒と、問題を解くことに困難を示す生徒が協力して解答する相互学習の機会を多く設けている。

イ 自己効力感を伸ばす取組（教え合い学習の推進）

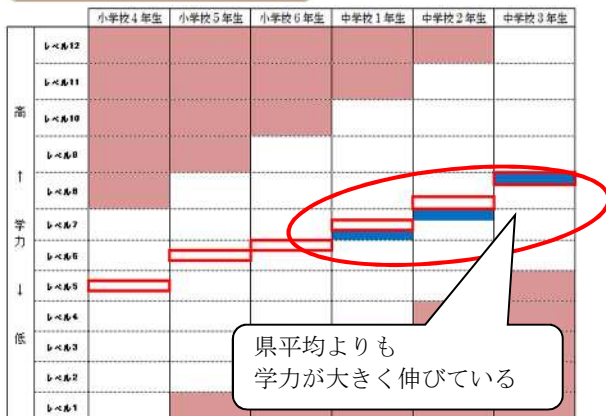
漢字練習で辞書を使って調べる際には、早く調べ終えた生徒に周りでまだ引き終えていない生徒のサポートをする役割を持たせ、互いに話しかけやすくコミュニケーションを取りやすい雰囲気醸成している。全員が早く、正確に問題解決できるよう協力することで、問題解決能力の向上に努めている。

教え合い学習の機会を増し、自らの考えを伝える力、他者の意見を聞く力を育むことで、社会生活で求められるコミュニケーション能力を養い、自他を認め合う機会を増やしている。

中学校2→中学校3年生の取組【数学】

(1) 学力の伸びから見られる特徴

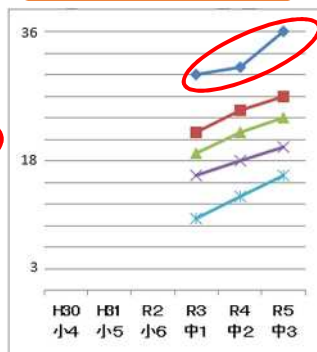
今までの学力の変化



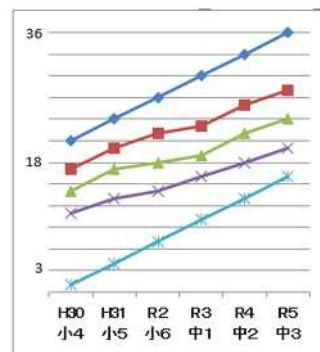
県平均よりも
学力が大きく伸びている

学力の伸びの状況

所沢市立富岡中学校



埼玉県



自己効力感 (再掲)	中2		⇒	中3	
	自校	3.1	+0.3	3.4	
	県平均	2.9	+0.2	3.1	

- 中2のときまでは県平均の学力よりも低かったが、中3で県平均の学力に並んだ。
- 伸びが県平均よりも大きく、特に上位層は5段階高くなっている。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 基礎学力の定着を図る取組

毎回の授業冒頭で、前時までの学習内容を確認・復習し、本時の内容とのつながりを捉えさせ、安心感を持たせてから本時の内容に入る。また、週1回計算分野の小テストを5分間で実施し、問題を解く経験を積み重ねさせている。

イ 自己効力感を伸ばす取組（主体的に取り組む態度を育成）

互いに話しかけやすい雰囲気づくりに努め、早く課題を終えた生徒と解き方がわからない生徒との教え合いを促し、生徒同士で学び合う時間を充実させた。

授業中、時には挙手を求めず、生徒からの自由な発言を認め、教師と生徒とのやり取りを充実させた。生徒との自然な雰囲気の対話を大切にしている。

生徒の「なぜ？」を言葉で表現するための補助発問を工夫し、生徒自身が導いた形へ誘導する発問をすることで、ひらめきを論理的思考に変換させ、達成感・充実感を味わわせる。

学習内容に応じたプリントを作成し、板書を写す時間を最小限にすることで、生徒が考えをまとめる時間の確保している。

学校全体での取組

(1) 基礎学力の定着への取組

本校では小学校で習う内容を含む基礎学力が定着しておらず、中学校の授業についていけない生徒の割合が相対的に高かった。この問題の改善のために、長期休み明けや水曜日の放課後の時間に、予め漢字や計算、単語等の範囲を指定した基礎学力コンテストを全学年実施した。合格点に達していない生徒については、個別指導を継続することで8割等の合格ラインに到達するまで粘り強く定着を図った。また、家庭での学習習慣の確立に向け、令和4年度まで毎日自主学習ノートを生徒に提出させた。学年単位では、生徒会活動や班活動の中で工夫した取組も行われた。定期テスト前でも部活動がない日には、放課後質問教室を開催し、個別に学習支援も行っている。

(2) 教員の資質向上への取組

令和4年度は「生徒の表現力向上」をテーマに掲げ、教員の授業実践及び改善を図った。指導案を作成して他教科の教員にも授業見学をしてもらい、協議をしていく中で授業改善につなげていった。また、埼玉県学力・学習状況調査や授業アンケートの分析をし、生徒の実態を把握すると共に授業者の授業改善にも役立てた。



上里町立上里北中学校の取組

1 本校の概要

本校は、埼玉県の中でも最北端に位置する中学校であり、烏川、神流川の2大河川を境に群馬県と隣接する自然豊かな学校である。全校生徒数311人、学級数12学級の中規模校である。目指す学校像を「豊かに学び、生徒を繋ぎ、自己肯定感をはぐくむ、笑顔のあふれる学校」として掲げ、学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」の具現化を図っている。また、上里町で取り組んでいる「学び合い学習」を学校研究の中心に位置付け、学力向上の推進を図っている。

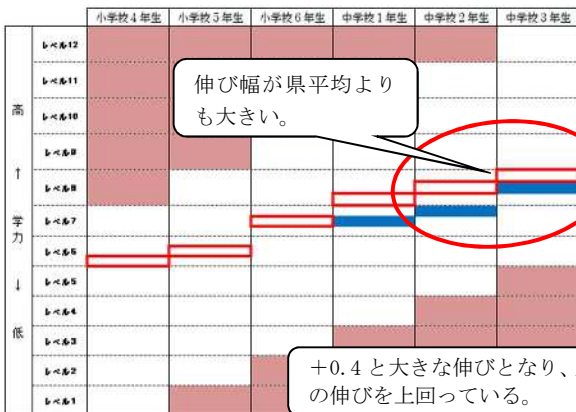


2 令和4・5年度の結果

中学校2年生→中学校3年生の取組【国語】

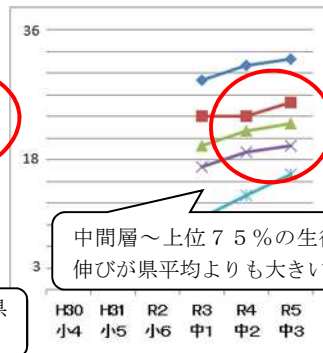
(1) 学力の伸びから見られる特徴

今までの学力の変化

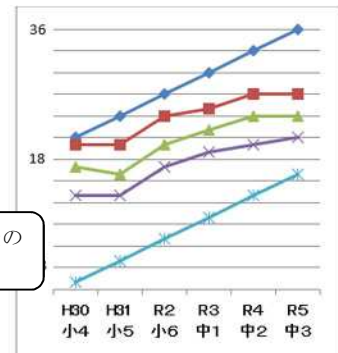


学力の伸びの状況

上里町立上里北中学校



埼玉県



自己効力感		中2	⇒	中3
	自校	2.8	+0.4	3.2
	県平均	2.9	+0.2	3.1

○ 学力に相関関係のある「自己効力感」について県平均を上回る水準まで大きく伸ばしている。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 言語活動の充実と学習の振り返り

2年生の国語では、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、様々な単元で教材に合わせた言語活動を設定し、取り組ませた。また、毎時間、授業の終わりに学習の振り返りを記入させ、学習の自己調整力を高めるとともに、生徒の振り返りに対して教員のコメントを記入することで学習への意欲付けを図った。



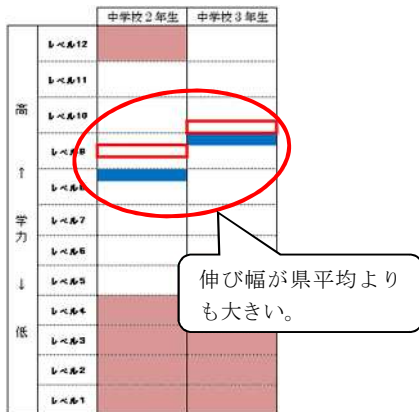
イ 自己効力感を伸ばす取組（学び合い学習）

「学び合い学習」を進め、生徒同士のつながりを意識した授業展開を行った。ペアやグループでの学習を積極的に取り入れ、学習に困り感を抱いている生徒や学びに向かうことが困難な生徒などが他の生徒とつながりを持ち、分からないことを訊き合いながら課題に取り組むことで、「できる、できた」を実感できる授業づくりを進めた。また、授業だけでなく、学校生活や行事など様々な場面で、教員が生徒をほめ、認める声掛けやメッセージを伝えることで、教員と生徒のつながりも意識して行った。

中学校2年生→中学校3年生の取組

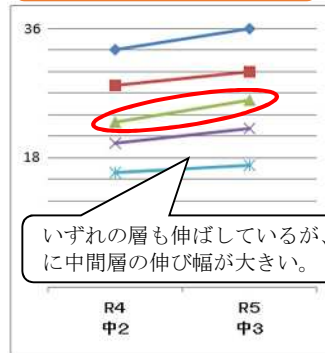
(1) 学力の伸びから見られる特徴【英語】

今までの学力の変化

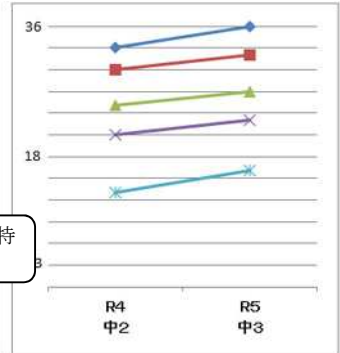


学力の伸びの状況

上里町立上里北中学校



埼玉県



自己効力感 (再掲)	中2		⇒	中3	
	自校	2.8	+0.4	自校	3.2
	県平均	2.9	+0.2	県平均	3.1

○ 学力に相関関係のある「自己効力感」について県平均を上回る水準まで大きく伸ばしている。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 1人1台端末の利活用や学び合いの充実

Writingの指導の際は、生徒一人一人、各自のタブレット端末にテーマに沿って記入させ、書いた内容をグループで互いに確認し合いながら協働的に学習を進めるなど、様々な場面でタブレット端末を活用した。学び合いの充実では、授業中に必ずペアやグループでの学習を取り入れることで、生徒同士が学び合う場面を設定し、一人一人が主体的に学びに参加できるようにした。また、授業の導入で既習内容を使った Small talk をさせることで、学習を定着させるとともに自ら英語を発信する力を高める指導を行った。



イ 自己効力感を伸ばす取組（生徒同士の良好な関係づくりやよい雰囲気的确立）

帰りの会で生徒が他の生徒の良かった点を伝える「誉チャレンジ」や、学期末に男女別で8つの部門における表彰（「きらめき賞」「身だしなみがよかったで賞」等）など、生徒同士が認め合う場面や教員が生徒をほめて認める場面を積極的に設定し、良好な関係や良い雰囲気の中で生徒が前向きに活動に取り組める学年・学級を作った。また、そのような仲間との関係性や雰囲気を生かし、生徒同士が協働的に授業に取り組み、達成感を得られるよう学び合い学習を充実させた。

学校全体での取組

(1) (県学調) 復習シートの活用

復習シートを冊子にして生徒に配布し、各自の実態に応じて取り組ませている。解答を学校のホームページに掲載し、答え合わせや間違えた問題の解きなおしができるようにしている。また、日頃の授業でも復習シートの活用を図っている。



(2) 学び合い学習や自己効力感を高める取組 (*アセス…学級所属感調査)

学び合い学習を学校研究の中心に位置付け、全ての教科で協働的な学習に取り組んだ。ペアやグループでの学習を積極的に行い、生徒同士が訊き合える関係づくりやつながりを意識した授業を行うことで、主体的に学びに向かう生徒の育成を図った。また、その素地として、1年生は5月に神川げんきプラザで人間関係づくりを目的にしたアドベンチャー学習を実施した。さらに、全校でアセス(*)を実施し、学級経営や個別指導に生かした。



羽生市立西中学校の取組

1 本校の概要

本校は、全校生徒 377 人、学級数 13 学級の中規模校である。学校教育目標「自ら学ぶ生徒」「思いやりのある生徒」「たくましく行動する生徒」の実現に向けて、教育活動に取り組んでいる。

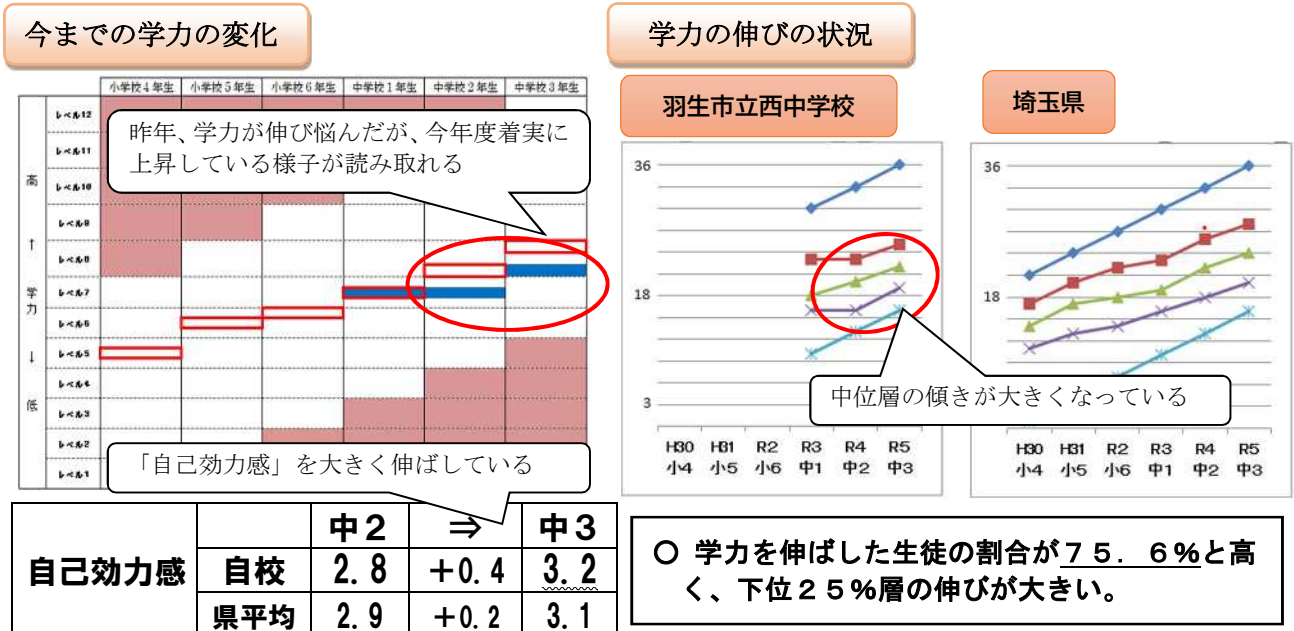
また、研究主題を「主体的に学び、確かな学力を身につける生徒の育成」とし、スローガンとして「よく見て、よく聴いて、よく考えて・・・」を掲げ、日々、授業づくりに、全教職員を挙げて取り組んでいる。



2 令和4・5年度の結果

中学校2年生⇒中学校3年生の取組【数学】

(1) 学力の伸びから見られる特徴



(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 学び方の指導

例題を真似てやってみること、図に書き込んでみること、テスト直しの方法など、折に触れ数学の学び方を生徒に伝えた。また、前時のノートを見返して解決方法を考えている生徒や、「教えて」「どういうこと」と他の生徒に聞くことができている生徒に称賛の声掛けを行ったり、ノート点検時に、生徒にコメントを書いたりすることで、学習意欲が向上したと考えられる。

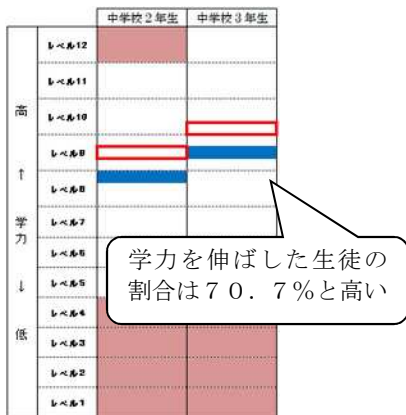
イ 自己効力感を伸ばす取組(生徒との対話から始まる授業)

授業の導入では、生活の場面を想起できるようにしたり、前時までの学習内容とのつながりを意識できるようにしたりして、生徒との対話の中から本時の学習課題を提示できるようにした。本時の内容に関連する既習事項(前年度の内容)の学び直しを実態に応じて行ったり、前時との違いに気付くことができるようにしたりして、生徒の発言から課題解決への見通しをもてるようにしたことが、「できるかもしれない」「やってみよう」という意欲につながり、自己効力感の向上につながったと考えられる。

中学校2年生⇒中学校3年生の取組【英語】

(1) 学力の伸びから見られる特徴

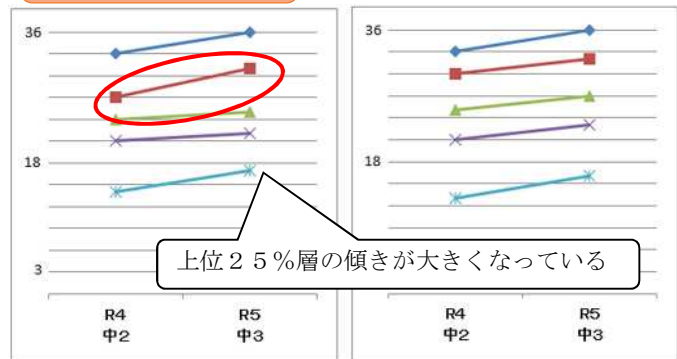
今までの学力の変化



学力の伸びの状況

羽生市立西中学校

埼玉県



自己効力感 (再掲)		中2	⇒	中3
	自校	2.8	+0.4	3.2
	県平均	2.9	+0.2	3.1

○ 自己効力感を大きく伸ばしている学年であり、上位25%層の学力の伸びが大きい。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 家庭学習ノートの充実

単元テストや学期はじめの単語テスト、定期テストの振り返りとして、練習用ノートに間違い直しをして、提出するようにした。それを繰り返すことで、生徒は自分のミスを修正し学び直しをすることができた。また、自分の言葉で、自分のテスト結果について自己分析するようにしている。単語や文法問題、英作文等について「自分はなぜ正解できたのか」「なぜ間違えたのか」を考えるようにすることで、生徒自身が自らの学びについてメタ認知を行うことができた。その際、教員の答えを生徒に提示することで、教員と生徒の信頼関係が高まり、学習意欲が向上したと考えられる。

イ 自己効力感を伸ばす取組（学びあい）

2年生から英作文を書く時間を各セクションで毎回設け、自分なりの英作文を作成できるようにした。その中で、文法のミスや単語のスペルミスなどの間違いを生徒同士で教え合う時間を設けた。生徒相互で学び合うことで、間違いに気付くことができるだけでなく、称賛や感謝の言葉が自然とあふれるようになった。その結果、生徒がやりがいや達成感を味わうことができ、自己効力感も向上したと考えられる。

学校全体での取組

(1) 西中スタイル「課題設定→学びあい→振り返り」の確立

授業において「課題設定→学びあい→振り返り」の一連の流れ【西中スタイル】と、生徒に「見通し」を持てるようにした授業の実施を教職員間で共通理解した。また、日々の相互授業参観により様々な先生が出入りする「開かれた教室」を実現し、互い授業を磨いている。



(2) 生徒のスケジュール管理能力の育成

毎週金曜日の朝に来週のスケジュールを管理する時間を設ける。具体的には生徒会中心に来週の予定をオンラインにて確認し、手帳に各自記入している。

(3) 教科指導におけるキー・コンピテンシー（身に付けてほしい資質・能力）の明確化

教科指導におけるキー・コンピテンシーを明確にし、指導計画に位置付ける。また、キー・コンピテンシーを育成するための効果的な方法を工夫する（教師用個人取組計画シートの作成）。

第5章

学習指導のポイント

実際に出題した調査問題をもとに、児童生徒の解答状況や各種分析、学習指導のポイントをまとめました。

各学校において授業改善の参考にお役立てください。

1 国語

小学校 第4学年 国語 **21** (1)

問題の学力のレベル
レベル7-B

○ 調査問題

(1) 「先週、社会科の授業で学校の近くのスーパーマーケットの見学に行きました。」に続いて、ア～エの文を順番にならべかえて答えましょう。

ア
スーパーマーケットに香くと、まず、売り場やお店の人の様子などを観察しました。

イ
観察やインタビューを通してわかったことは、スーパーマーケットには、お客さんを満足させるための工夫がたくさんあるということだった。

ウ
季節ごとに売り場を変えたり、新商品を目立つところに置いたりしていると聞きました。また、清潔にしておくことにも気をつけているそうです。

エ
次に、お店の人に、商品を選らぶときの工夫と、だん気をつけていることをインタビューしました。

21 次の五つの文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

四番目

三番目

二番目

一番目

○ 調査問題の趣旨・内容

- 【問題の概要】 前後の関係から、文の順番を並べ替える
 【出題の趣旨】 文章を書く上での文の構成を理解する

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 アエウイ	9 1以外	0 無解答
反応率	50.1%	46.1%	3.8%

- 正答率は50.1%であった。文章を書く際には、読み手が理解しやすいように構成を工夫することが重要である。
- 主な誤答は、1番目にアを選ぶことはできたが、2番目を正しく選択することができなかったことであった。その理由として、「まず」「次に」といった順序を表す言葉に着目できなかったり、段落相互の関係を捉えられなかったりしたと考えられる。
- 授業において、付箋や短冊等を活用してメモを作成するなどの活動を行うことで内容のまとまりで段落をつくるよう指導することが重要である。

○ 指導上のポイント

組み立てを考えて、報告する文章を書く指導

〈学習活動例〉調べた内容をメモにまとめ、報告書を作成する活動

①「組み立て」を理解する。

組み立ての例：「調べた理由」「調べ方」「調べて分かったこと」「まとめ」

教科書等の文例などをもとに、文章からメモを作ってみましょう。実際に文章を書くときは「メモから文章にする」といった流れで取り組みますが、「すでに書かれている文章からメモを作る」活動を取り入れることで、伝えたいことを、内容のまとまりに分けて書いていることに気付くことができます。



②「メモ」を作成する。



付箋や短冊等を使ってメモを作成してみましょう。

1枚に1つの内容にすることで、内容のまとまりを意識させることができます。順序の入れ替えも容易にできます。

友達が作成したメモについて、正しい順序を考えながら並べる活動もできます。「各段落の内容のまとまりを意識して作成すること」や「段落相互の関係を考えながら文章構成を検討すること」などの視点で意見を交流することで、学び合いが生まれます。



主体的、対話的で深い学びの視点。

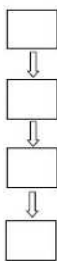
小中連携
の視点

☆ICTを活用した文章作成



ICTを活用すれば、作成したメモからコピーして文章作成ソフトに貼り付けることが可能なので、メモをそのまま活用したり、修正したりすることが容易にできます。さらに、文書作成ソフトの校閲機能（変更履歴の記録等）を活用し、学びの足跡を残す方法も有効です。下書きの文章と清書された文章を比較することで児童は自身の成長を実感できます。子供たちの変容を見取り、適切に指導することが大切です。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用



【文の順番を並び替えて、話の内容を組み立てる問題】
（1）AからDをお話が続くように順番を並び替えましょう。

レベル4・5



C わたしは、社会の学習でスーパーマーケットの見学に行きました。スーパーマーケットでは、どんなふうをしているのか調べためです。

D お店の人が、お客さんが取りやすいように品物を工夫してくれていることを教えてくれました。他にもお客さん買い物をしやすいようにいろいろ工夫をしていることを教えてくれました。

A スーパーマーケットで働くお店の人が店の準備してくれました。店の中にはたくさん品物がありました。品物は、きれいに並べられていた。

B 見学をして、スーパーマーケットで働く人は、お客さんの事を考えて、いろいろな工夫をしているのだなと思いました。

① 次のA～Dの文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

組
番号
名前

復習シート 第四学年 国語

埼玉県学力・学習状況調査（小学4年 書くこと）



【出典】 R1 復習シート
【小学4年生】書くこと
レベル4・5

○ 調査問題

19

次の□の漢字の部首の名前を答えましょう。また、関係する意味を、あとの1～4の中から一つ選びましょう。

辺

1 植物に関係する
2 家に関係する
3 行くことに関係する
4 土に関係する

	部首の名前
	関係する意味

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 漢字の部首名を書き、どんな意味に関係しているかを選択する
 【出題の趣旨】 漢字の部首を理解する

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 「しんによう」 「3」と解答	2 意味の誤答	9 部首の誤答	0 無解答
反応率	55.2%	13.3%	29.6%	1.8%

- 正答率は55.2%であった。
- 主な誤答は、「へん」であった。理由としては、部首の「へん」や「つくり」から学習することが多いことから、問われていることを正しく把握せずに、部首といえば「へん」と答えたことや、「辺」という漢字の読み方と混同したことが考えられる。
- 部首名を覚えるだけでなく、部首からその漢字の表す意味が何に関係があるのかについても考えをもつ必要がある。日々の授業において工夫して指導することに加え、授業の開始時など、短い時間を有効に活用し、効果的に継続して行える指導を取り入れていく必要がある。

○ 調査問題

19

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

小学五年生の持沢香衣は、同じクラスの曾良秋に手紙を書こうとしていた。

わたしは机に便せんをひろげた。便せんには赤い毒のイラストが描かれている。横書きの便せんの一行目に「曾良秋さま」と書く。それから「この前はレコードに傷をつけてごめんなさい」と書いた。そして、つぎにどう書くかと考える。秋ちゃんには伝えたいことがある。いろんな気持ち。どんなことから書きはじめたらいいんだろう。

わたしはシャープペンシルを机に置き、椅子の背にもたれた。

あのね、秋ちゃん、と胸の中でいってみる。

いろんな言葉が浮かんでくる。ヤブツバキのことを話したい。木の下にいと風の音がきこえること。それから、校門の前で三毛猫を見たこと。一度、三毛猫が運動場を横切っていたのを見たよ。と。いこのアンナちゃんがわたしを呼ぶとき「カイ」って呼びすてにすること。アンナちゃんに日本のことを教えてあげるたび、かならず「そうなんだあ」ということ。

そうじゃない。書きたいのはそんなことじゃない。わたしの胸がどきどきしはじめる。そうじゃなくてね、と自分にいきかせる。もつとべつのこと。

秋ちゃんとは五年生ではじめて同じクラスになった。

四月の終わりが、秋ちゃんは公園の入り口でニット帽をひろった。そのあとからだ、ときどきいっしょに帰るようになったのは。

「ここにはよく来るの?」と、曾良さんはわたしにきいた。そこは公園の前だった。「ときどき」とわたしはこたえた。アンナちゃんがうちに来ると、わたしは新ちゃんやアンナちゃんを連れて公園に行く。アンナちゃんはブランコに乗るのが好きだから。

「公園にはいろんな草が生えてるよ」と曾良さんはいった。

わたしは公園に生えている草をあんまり見えていなかった。

「いまいっぱい花が咲いている。知ってる?」と曾良さんはいった。とてもうれしそうなお顔で。

「知らなかった」というと、曾良さんは「もったいない」といって笑った。

五月の連休のあと、ひとりて学校から帰っていると、後ろから曾良さんに肩をたたかれた。ふりむくと、「これ」と手紙を渡された。曾良さんはまじめなお顔をしていた。まじめというより、ふきげんそうなお顔だった。わたしはびくびくして手紙を受け取った。

家に帰ってから手紙を読んだ。

「わたし、一か月、持沢さんを見ていました。持沢さんはだれにでも親切です。横井さんが教室の前の入り口の戸にぶつかっただけ、すぐハンカチをぬらしに行って、それからハンカチでおでこを冷やしてあげたよね。ほかのひとはできなかったよ。雨がふっていた朝、校門を入ったところで、傘を持たずに走って校舎にむかっていた二年生くらいの男の子を見と、追いかけて行って、傘に入れてあげたよね。それから、持沢さんはこの前ははじめての算数のテストで百点を取っていましたね。持沢さんの隣の席の赤井くんが「モッチ、百でーす」といったから、わかったんだけど。

(1) ① 書きたいのはそんなことじゃない。とありますが、そんなことは具体的にどのようなことですか。具体的な内容が書かれている段落をさがし、はじめの六字をぬきだして答えましょう。

6

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 文章中の語句が指す内容が書かれた段落の冒頭を抜き出す。

【出題の趣旨】 登場人物の心情の具体的な内容を読み取る。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 「いろんな言葉」と解答	9 その他の解答	0 無解答
反応率	33.2%	57.9%	8.9%

- 正答率は33.2%であった。「書きたいのはそんなことじゃない。」の「そんなこと」が指しているのは、一つ前の段落に書かれている複数の叙述であることを読み取り、解答するものである。
- PBT、CBTともに主な誤答は、「そうなんだあ」や「ヤブツバキの」であった。理由としては、文章中の「そんなこと」が示す内容を一部分しか捉えられず、直前に書かれている語句のみを解答したことが考えられる。
- 授業において登場人物の心情を読み取る際には、一部分だけでなく、複数の叙述を結び付けて考えさせることも重要である。

○ 指導上のポイント

複数の叙述を結び付けて、人物像を具体的に想像する力を高める指導

〈学習活動例〉

○ 5年生教材「大造じいさんとガン」で話し合いを通して人物像を捉える学習をする。



主体的、対話的で深い学びの視点



大造じいさんはどんな人物でしょう。残雪との関わりの中で、大造じいさんの心情がどのように移り変わっていくか話し合みましょう。



【話し合いの様子】

* ICT (付箋機能等) の活用も有効

①

大造じいさんは、最初残雪のことを憎らしく思っていたと思うよ。それは、「いまいまして」思っていたと書いてあったから。一羽のガンもとれなくなって、とても悔しかったと思う。

②

その後少しずつ残雪ってすごいやつだなという思いをもち始めたと思う。どうしてかという、「感嘆の声」をもらしたと書いてあったから。

③

うんうん。「思わず」って書いてあるところからも、残雪の知恵に感心している大造じいさんの気持ちが伝わってくるね。

④

「たいしたちえをもっているものだな」とも書いてあったよね。大造じいさんは、負けず嫌いの猟師だったと思うな。



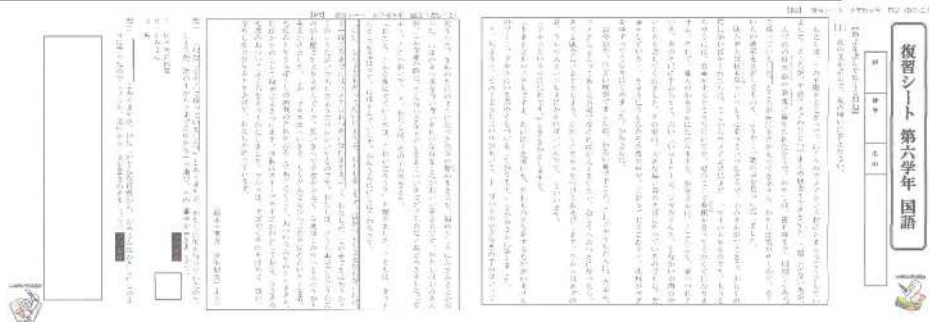
様々な叙述から、心情の移り変わりについて考えていますね。一部分だけでなく、複数の叙述から考えると、人物像が見えてきますね。

【指導のポイント】

登場人物の人物像を具体的に想像するためには、登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方を総合して判断することが必要です。

* 物語などの展開と結び付けながら読んでいくことが重要。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用



【出典】R3復習シート
【小学6年生】読むこと
レベル6・9

○ 調査問題

- 1 家の作り方は、夏を中心と考えると良い。
- 2 浅くて流れている水からは、涼しい印象を受ける。
- 3 家の中に、必要のない部分を作っても役に立たない。
- 4 暑さと寒さでは、暑い方が我慢をすることができる。
- 5 引き戸のある部屋は部屋の部屋よりも、見るのも面白い。

(2) (古文)と、それを(解説した文章)に書かれていることとしてあてはまらないものを、次の1～5の中から二つ選びなさい。

18

次は(古文)と、それを(解説した文章)です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。


(古文)

家の作りやうは、夏をむねとすべし。冬はいかなる所にも住まる。暑き比わろき住居は、堪へがたき事なり。深き水は涼しげなし。浅くて流れたる、通かにすずし。こまかなる物を見るに、遣戸は藪の間よりも明し。天井の高きは、冬寒く、灯暗し。造作は、用なき所をつくりたる、見るも面白く、万の用にも立ちてよしとぞ、人の定めあひ侍りし。

(徒然草)による)

(解説した文章)

家の作り方は、夏を中心とするのが良い。冬は、どんな所にも住むことができる。暑い時に住むところが良くないことは、我慢ができないことだ。深い水は涼しい感じがしない。浅くて流れている水は、ずっと涼しい感じがする。こまかいものを見ると、引き戸のある部屋は藪の部屋よりも明るい。天井の高い部屋は、冬に寒く、明かりが暗く感じるものだ。家の作りは、必要のないところを作っているのが、見るのも面白く、いろいろな役に立って良いと人々が評価した。



○ 調査問題の趣旨・内容

- 【問題の概要】 古文と現代語で解説した文に書かれていることとして適切でないものを選択する。
- 【出題の趣旨】 古文の内容を知る。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 「3」と 「5」と解答	2 「3」と「5 以外」と解答	3 「3以外」と 「5」と解答	9 その他の解答	0 無解答
反応率	37.5%	36.5%	12.0%	13.6%	0.3%

- 正答率は37.5%であった。
- 古文と解説した文章を比較し読み取ることができていない解答が見られた。理由としては、問われている内容と選択肢の内容を十分に照らし合わせることなく、解答してしまっている可能性が考えられる。
- 指導に当たっては、古文の授業だけではなく、日頃から様々な古文を繰り返し読んで心地よい響きやリズムを味わったり、古文と現代語で解説した文章の言葉の違いを結び付けたりしながら、古典への興味・関心を深める指導が重要である。

○ 指導上のポイント

昔の人のものの見方や感じ方を楽しみながら知ることについての指導

<学習活動例> 古典への興味・関心を深め、古典について解説した文章を読むことなどを通して昔の人のものの見方や感じ方を知る。

① 古典と解説した文章を比較しながら、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを実感する。



古文を音読し、心地よい響きやリズムを味わってみましょう。古文と解説した文章を読み、言葉を比べて友達と気付いたことを話し合ってみましょう。

重要!

古文と解説した文章を比べながら、言葉の変化や違いを視覚的に発見できるように工夫します。交流を通して、昔の人ならではのものの見方や感じ方に親しめるような場にします。

「春は明け方がよい」が、素敵だな。



古文

個別最適な学び
協働的な学び
の視点を大切に

解説した文章

④ 春はあけぼの。
⑤ 春は明け方がよい。
⑥ やうやう白くなりゆく山ぎは、
⑦ だんだん白くなっていく山に近いところの空が、
⑧ すこしあかりて、
⑨ 少し明るくなって、
⑩ 紫だちたる雲のほそくたなびきたる。
⑪ 紫がかつた雲が細くたなびいているのがよい。

春はあけぼの。
やうやう白くなりゆく山ぎは、
すこしあかりて、
紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

春は明け方がよい。だんだん白くなっていく山に近いところの空が、少し明るくなって、紫がかつた雲が細くたなびいているのがよい。

「やうやう」って、「だんだん」という意味なんだね。



② 児童の気づきを生かして、合わせ札体験を楽しむ。



現代
だんだん

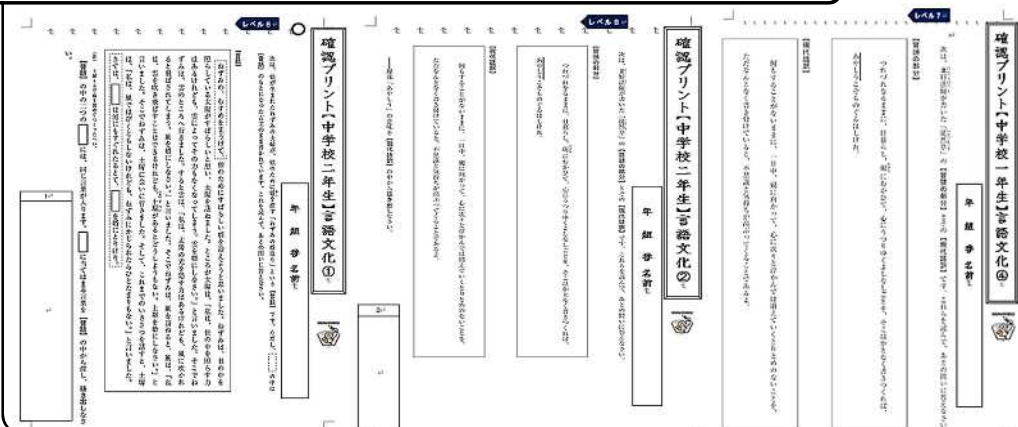
古典
やうやう



小中連携の視点

様々な取組を教科横断的に行ったり、日常生活の中で教師が意図的に取り入れたりして、児童の古典への興味・関心を高めていきましょう。また、中学校での学習の接続も意識して取り組みましょう。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用



【出典】
コバトン問題集
【中学1年生】
言語文化④
レベル7
【中学2年生】
言語文化①②
レベル8

○ 調査問題

10

山頂¹の²展望台³から⁴輝く⁵湖⁶が⁷見え⁸た⁹。

次の文の1～9の中から、体言をすべて選びなさい。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】一文の中から体言をすべて選択する

【出題の趣旨】体言・用言を理解する

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 1・3・6と解答	9 その他の解答	0 無解答
反応率	36.0%	62.6%	1.4%

- 正答率は36.0%であった。「1（山頂）」「3（展望台）」「6（湖）」という体言（名詞）を選択するという問題である。
- 主な誤答としては「5（輝く）・8（見え）」や「1・3・6・5・8」が考えられる。理由としては、体言と用言を混同してしまったり、「自立語」「付属語」「体言」「用言」などの言葉の意味を理解しきれていなかったりすることが考えられる。
- 文法（言葉の特徴や使い方）の指導は、教師が説明した後に問題演習をするという指導になりがちであり、教師は教えたつもりでも、生徒に十分に定着していないことが多い。文法の学習も主体的・対話的で深い学びの視点で、言葉に注目し、話し合ったり教え合ったりする中で定着していくものと考えられる。また、文法を学習した後は、例えば「B 書くこと」「C 読むこと」の指導の中で関連させながら、繰り返して指導することも大切である。

○ 指導上のポイント

「言葉の特徴や使い方：体言」を既習事項の教材を用いて理解を深め、定着を図る指導

【既習の詩を用いた学習】

<p>（ ）の（ ）が</p> <p>（ ）の（ ）にひっそりと</p> <p>（ ）を迎へた赤い（ ）</p>	<p>チューリップ 三好達治</p>	<p>虫が鳴いてる</p> <p>いま ないておかなければ</p> <p>もう駄目だというふう泣いてる</p> <p>しぜんと</p> <p>涙をさそわれる</p>	<p>虫</p> <p>八木重吉</p>
--	--------------------	--	----------------------

以前学習した詩『虫』の中で、「体言」はどれでしょうか。班で話し合ってみましょう。

「虫」「駄目」「しぜん」「涙」の4つは、物事や物の名前を表しているから体言と思う。

「駄目」は体言ではなく、「駄目だ」という形容動詞ではないかな。

「しぜん」も体言ではなく、「しぜんと」という単語で、「さそわれる」を修飾しているね。

『チューリップ』の詩の（ ）に当てはまる体言を入れて詩を完成させましょう。

「蜂の羽音が チューリップの花に消える 微風の中にひっそりと 客を迎へた赤い部屋」だね。

最後が体言で終わるから「体言止め」って言うのだね！

【既習の説明的文章を用いた学習】

以前学習した説明的文章の要約を班で見せ合い、共通して使っている「体言」を見つけましょう。

「ダイコン」「根」「胚軸」「器官」「植物」「魅力」という体言は、みんなが使っているね。

たしか、ダイコンの白い部分は根と胚軸という二つの器官からできていて、器官の働きによって味が違う。身近な野菜も植物として観察すると新しい魅力が見えてくるという話だったね。

すごい！体言で内容を思い出せるし、体言をつなぎ合わせると要約になるのだね！体言は文章の中で重要な役割を果たしているね。体言に注目すると内容が捉えやすくなるね。

既習の教材を用いて、話し合わせることで、主体的に体言について確認し、理解を深めることができる。また、文法の学習は文法の学習として独立したものではなく、他の学習や日常生活に生かせるものであることに気づかせることができ、「生きて働く」知識及び技能の習得につながる。

指導事項の系統性を小学校から把握（学習指導要領解説 国語編 付録4参照）して指導にあたるのが重要である。小学校からの積み上げを生かした授業作りを心がけることで、生徒の理解の定着が一層図られる。



○ 復習シート・コバトン問題集の活用

【出典】R5復習シート
【中学2年生】言葉
レベル10

（2）次の文のAからケの中から体言をすべて選び、記号に○をつけなさい。
類例：A 中 で 舞 が 口 言葉 羽 歯 耳 指 的 的

○ 調査問題

15 出田さんは、ニュースで知った「再生可能エネルギー」についてレポートを書くことにしました。次は、出田さんが書いた「レポート用のメモ」とインターネットで見つけた【資料A】・【資料B】です。これらを読んであとの問いに答えなさい。

【資料A】
〈2010年度の電源構成〉
再生可能エネルギー比率：9.5%
再生可能エネルギー（水力を除く）2.2%
水力 7.3%
再生可能エネルギー以外 90.5%
再生可能エネルギーの電源構成比
風力・地熱 5%
バイオマス 14%
太陽光 3%水力 7%

【資料B】
〈2019年度の電源構成〉
再生可能エネルギー比率：18.0%
再生可能エネルギー（水力を除く）10.3%
水力 7.7%
再生可能エネルギー以外 82.0%
再生可能エネルギーの電源構成比
風力・地熱 6%
バイオマス 14%
太陽光 17%
水力 13%

【レポート用のメモ】
・再生可能エネルギーとは
太陽光、風力その他非化石エネルギー源のうち、水統的に利用することができると思われるもの。
※非化石エネルギー…石油や石炭、天然ガスといった化石燃料を使用していないもの。
・再生可能エネルギーの種類
水力、太陽光、風力、地熱、バイオマスなどがある。
バイオマスは、農作物の非利用部分や家畜の排せつ物などを資源にして発電するエネルギーである。
・日本の電源構成の割合に関する年度による比較

ア

5 1010年度も2019年度も、バイオマス発電の割合は再生可能エネルギーの中で変化していない。
4 1010年度も2019年度も、再生可能エネルギーの中では風力・地熱発電の割合が最も少ない。
3 1010年度も2019年度も、再生可能エネルギーが全体の約二割にまで増加している。
2 1019年度は、2010年度に比べ太陽光発電の割合が再生可能エネルギーの中で増加している。
1 1019年度は、2010年度に比べ水力発電の割合がエネルギー全体の中で減少している。
こととして適切でないものを1～5の中から二つ選びなさい。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】二つの資料を比較して分かったこととして適切でないものを選択する
【出題の趣旨】資料を比較して情報を読み取る

○ 誤答分析

解答類型	⓪ 正答 「1」と 「4」と解答	2 「1」と「4」 以外」と解答	3 「1以外」と 「4」と解答	9 その他の解答	0 無解答
反応率	21.5%	23.1%	27.0%	27.5%	0.9%

- 正答率は21.5%であった。
- 最も多い誤答は、解答類型3の「1以外」と「4」の27.0%であった。理由としては、「4」は資料Bを見て比較的誤答と読み取りやすく、反対に「1以外」と解答してしまうのは、選択肢の文中の「水力発電の割合がエネルギー全体の中で」という部分の読み取りが不十分だったからだと考えられる。
- 資料A・Bの年度と数値を丁寧に読み込み、資料内の数値が再生可能エネルギーと再生可能エネルギー以外のものに分けて書かれていることに気付けば適切な選択肢と選ぶことができると考えられる。

○ 指導上のポイント

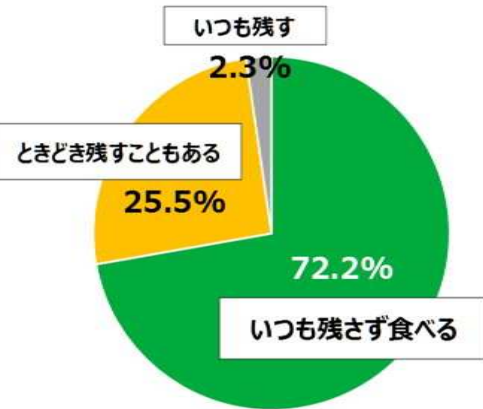
資料を基に根拠を明確にして書く指導

【言語活動】 フードロス意見交換会をしよう。

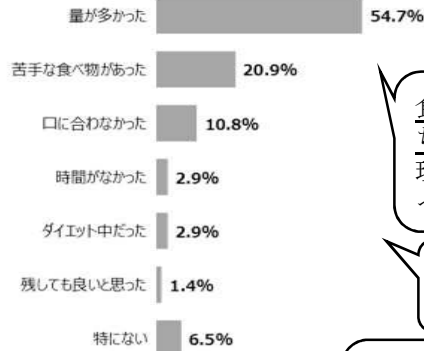
本時の学習課題：情報を関連付けて読み取り、食べ残しの原因を考えよう。



Q 食事を残すことはありますか。以下からお答えください。
(n=1000)



■「ときどき残すこともある」または「いつも残す」回答者
Q なぜ、食事を残してしまうのですか。特に当てはまるものをお選びください。(単一回答) (n=278)



食事を残す人ってどのくらいいるのかな…。

食事を残す27.8%の人うち「食事を残してしまう理由」として「量が多かった」が圧倒的に多い。

「苦手な食べ物であった」も2番目に多いね。

72.2%の人は「いつも残さず食べる」なのですね。残さないために気を付けていることが分かるデータはないかな。



データとデータを関連付けて読んでいくと、原因や解決策が明確になっていきますね。



72.2%の人は「いつも残さず食べる」なのですね。残さないために気を付けていることが分かるデータはないかな。



○資料を読む必要がある言語活動を設定することが大切です。

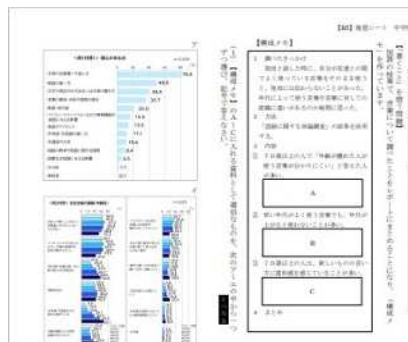
○社会科・数学科の授業でも資料やグラフの読み取りを扱っています。他教科での学びを生かしたり、国語科での学びを他教科に生かしたりすることを意識しましょう。

小中連携
の視点

学習指導要領解説 国語編 付録4には、教科の目標、各学年の目標及び内容の系統表があり、そこには【知識及び技能】(2)情報の扱い方に関する事項における小学校3年生から中学校3年生までの指導事項が系統的に記されています。教師は、系統性を明確にして、見通しをもち、日々の指導にあたりましょう。

急速に進展する情報化社会において情報活用能力の育成は必要不可欠であり、そのような背景から国語科でも「情報の扱い方に関する事項」が新設されています。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用



【出典】R5復習シート
【中学2年生】書くこと
レベル6・10

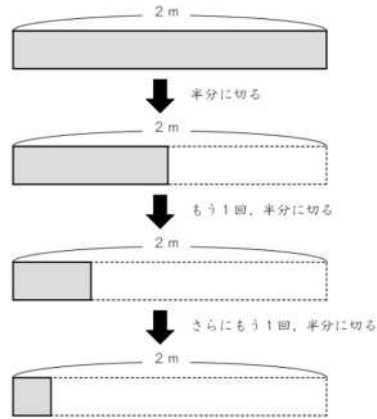
2 算数・数学

小学校 第4学年 算数 3 (4)

問題の学力のレベル
レベル6-A

○ 調査問題

(4) 次の図のような2mのテープがあります。このテープを半分に切ります。さらにもう2回半分に切ると、テープの長さは何mになりますか。下の㉔から㉗の中から1つえらびましょう。



- ㉔ $\frac{1}{2}$ m ㉕ $\frac{1}{4}$ m ㉖ $\frac{1}{8}$ m ㉗ $\frac{1}{16}$ m

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 テープを切ったときの長さを選ぶ。

【出題の趣旨】 等分してできる部分の大きさを分数を用いて表すことができる。

○ 誤答分析

解答類型	1 ㉔と解答	② 正答 ㉕と解答	3 ㉖と解答	4 ㉗と解答	9 その他の解答	0 無解答
反応率	19.8 %	40.9%	34.1%	3.6%	0%	1.6%

- 正答率は40.9%であった。
- 主な誤答は、㉖の $\frac{1}{8}$ m (34.1%) であった。理由としては、2 mを1とみてしまったということが考えられる。
- 誤答を選択した理由は、「分割分数（操作分数）」と「量分数」の意味理解があいまいで、分数の概念が定着していないことが原因と考えられる。

○ 指導上のポイント

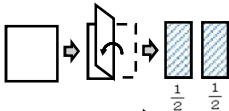
分数の意味理解を深める指導



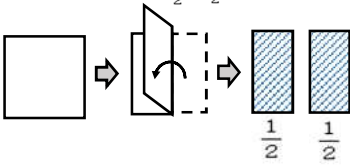
分割分数（操作分数）… $\frac{1}{3}$ や $\frac{2}{3}$ など、ものを等分割する操作と関連してできた分数。
具体物を等分したいいくつかを表す。

量分数…1 dLの $\frac{1}{2}$ は $\frac{1}{2}$ dLといったように、単位に満たない端数表示のために使われる分数。
測定したときの量の大きさを表す。

2年生の授業 分割分数（操作分数）

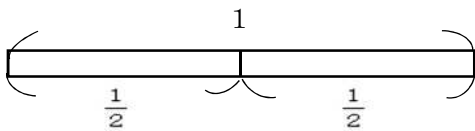


1つ分の大きさが違いますが両方とももとの大きさの $\frac{1}{2}$ ですね。この2つの図（色をぬった部分）は正しいですか。



$\frac{1}{2}$ はもとの大きさを同じ大きさに2つに分けた1つ分の大きさなので、この2つの図（色をぬった部分）は正しいと思います。

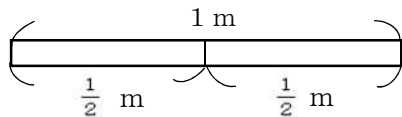
3年生の授業 量分数



$\frac{1}{2}$ と $\frac{1}{2}$ mの違いは何でしょう。



$\frac{1}{2}$ は、もとの長さを同じ大きさに2つに分けた1つ分の大きさを表しています。
 $\frac{1}{2}$ mは単位がついているけど……。



では、 $\frac{1}{2}$ mはどんな長さでしょうか。

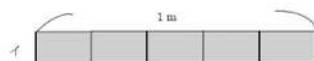
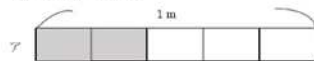


$\frac{1}{2}$ mは、1 mを2等分した1こ分の長さを表しています。

今回の調査結果で、 $\frac{1}{8}$ mと誤答を選択した児童が約3割いたことを踏まえ、分割するものの大きさや量に注目させ、量分数の意味を正しくとらえさせる必要がある。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

(2) リボンを $\frac{1}{2}$ m ぬいます。リボンの長さとして、正しいものを次のアからエの中から1つえらびましょう。



答え

【出典】R3復習シート

【小学4年生】数と計算

レベル4・5

○ 調査問題

8 次の問題に答えましょう。

(3) はるとさんは、マラソン大会の練習をしています。

校庭のトラックをまわる回数と走ったきよりの関係について、表にかいてしらべました。

まわる回数 (回)	1	2	3	4	5	
走ったきより (m)	180	360	540	720	900	

まわる回数を□回、走ったきよりを○mとして、まわる回数と走った距離の関係を式に表します。

どのような式になりますか。次の㉠から㉥の中から1つ選びましょう。

㉠ $\square + 180 = \bigcirc$

㉡ $\square \times \bigcirc = 180$

㉢ $180 - \square = \bigcirc$

㉣ $\square \times 180 = \bigcirc$

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 伴って変わる2つの数量の関係を、記号を使って式に表す。

【出題の趣旨】 伴って変わる2つの数量の表し方を考えることができる。

○ 誤答分析

解答類型	1 ㉠と回答	2 ㉡と回答	3 ㉢と回答	④ 正答 ㉣と回答	9 その他の解答	0 無解答
反応率	13.4%	18.3%	6.8%	54.4%	0%	7.1%

○ 正答率は54.4%であった。

○ 主な誤答は、㉡ $\square \times \bigcirc = 180$ であった。考えられる理由としては、表の一番初めの値だけを見て関係が成り立つと考え、他の値での確かめをしていなかったということが考えられる。

○ 誤答㉠に関しては、表を横に見て（変化の特徴を見て）走った距離が180mずつ増えていることに着目して選んだと考えられる。

○ 指導上のポイント

伴って変わる二つの数量関係をとらえる指導

問題：プールに水を入れていきます。水を入れる時間とプールにたまった水の量の関係を表に整理しました。「水を入れる時間」と「たまった水の量」の関係を説明しましょう。

水を入れる時間(分)	1	2	3	4	5	
たまった水の量 (L)	20	40	60	80	100	



どこでも成り立つきまりを見つけよう。どうしたらきまりを見つけやすいかな。



主眼的、対照的で深い学びの視点

表に矢印を書き込んでみたらいいんじゃないかな。
数字を書き込むともっとわかりやすいよ。



表に矢印や数値を書き込むことでどこでも成り立つきまりを見つけやすくなる

	+1	+1	
1	2	3	
20	40	60	
	+20	+20	

時間が 1 増えると水の量は 20 ずつ増えている

1	2
20	40
× 20	

時間に 20 をかけると水の量になっているね

1	2
20	40
÷ 20	

水の量を時間でわると全部 20 になるよ

見つけた関係を式で表すとどうなる？



○と□の式に表すと？

時間を□分水の量を○Lとしたら…

$$\begin{aligned} 1 \times 20 &= 20 \\ 2 \times 20 &= 40 \\ &\vdots \\ \text{時間} \times 20 &= \text{水の量} \\ \square \times 20 &= \circ \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} 40 \div 2 &= 20 \\ 60 \div 3 &= 20 \\ &\vdots \\ \text{水の量} \div \text{時間} &= 20 \\ \circ \div \square &= 20 \end{aligned}$$

式を立てたら、その式がいつでも成り立つのか、実際の数値を入れて確かめる活動を入れる

○伴って変わる二つの数量関係について、様々な変化や対応の特徴を見いだすことが想定される。表に矢印を書き込んだり、□や○などを用いた式に表したりして、変化や対応の特徴を具体的に見いだすことが期待できる。

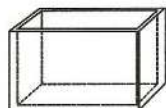
○ 復習シート・コバトン問題集の活用

〔数量関係〕を問う問題

1 次の表は、下の図のような水そうに水を入れ始めてからの時間と、水そうの底から水面までの高さを測ったものです。

水を入れ始めてからの時間(分)	1	2	3	4	5	6
水そうの底から水面までの高さ(cm)	6	12	18	24	30	36

水そうの底から水面までの高さが90cmになるのは、水を入れ始めてから何分後ですか。



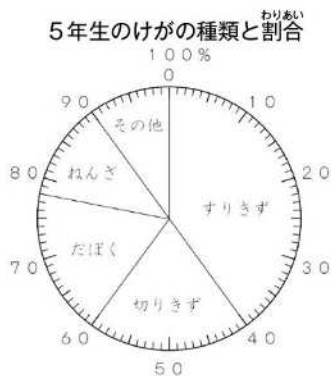
答え
分後

【出典】 R1 復習シート
【小学5年生】数量関係
レベル5・6

○ 調査問題

9 次の問題に答えましょう。

(1) 次の円グラフは、5年生のけがのようすを調べ、けがの種類ごとに表したものです。



この円グラフから読み取れることとして正しいものを、次の㉔から㉞の中からすべて選びましょう。

- ㉔ だぼくの件数は、18件です。
- ㉕ ねんごの割合は、全体の12%です。
- ㉖ すりきずの件数は、切りきずの件数の2倍です。
- ㉞ 切りきずの割合は、全体の4分の1です。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】円グラフから読み取れることを選ぶ。

【出題の趣旨】円グラフの特徴とその使い方を理解している。

○ 誤答分析

解答類型	①正答 ㉔・㉞と 解答	2 ㉕と解答	3 ㉖と解答	4 ㉔+㉖以 外の解答	5 ㉕+㉔以 外の解答	9 その他の解 答	0 無解答
反応率	30.2%	5.3%	5.7%	7.7%	12.6%	30.5%	8.0%

○ 正答率は30.2%であった。

○ 主な誤答は、㉕「ねんごの割合は、全体の12%」や㉖「すりきずの件数は、切りきずの件数の2倍」のどちらかだけを解答しているものであった。

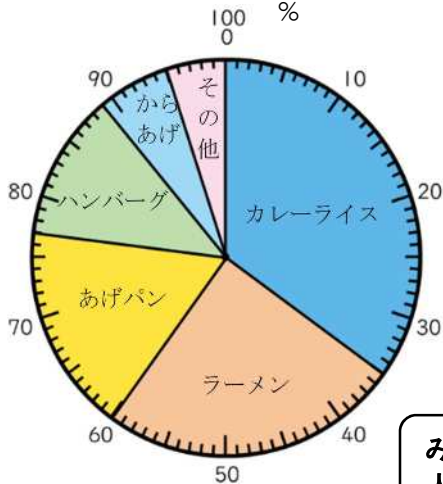
○ 正答の㉔、㉞以外のものを選んで誤答も多く、割合と件数が混同してしまい、円グラフの特徴を十分に理解していないことが考えられる。

○ 指導上のポイント

円グラフの特徴について理解を深める指導

問題 下の円グラフは、好きな給食のメニューについて、ゆりさんたちが全校児童に行ったアンケートの結果を表したものです。この円グラフから読み取れることについて考えましょう。

全校児童の好きな給食のメニューと割合



この円グラフから読み取れることは何ですか？

「カレーライスの割合が一番多い！」
 「ラーメンが好きな人は全体の4分の1だね！」
 「あげパンを好きな人は17人だね！」
 「ハンバーグを好きな人は、からあげが好きな人の2倍いるね！」

「ちょっと待って。確かにあげパンを好きな人は17%だけど、人数を17人としていいのかな？」

みなさん、どうですか。各給食メニューを好きな人の人数を求めるにはどうしたらよいかな？

確かに。人数と百分率は同じではないね。児童数は分からないなあ。

学校全体の児童数が分かれば、各給食メニューを好きな人数が分かるんじゃないかな？

そうか！円グラフの17は百分率だから人数ではないんだね。もとにする全校児童の人数が分からないと、それぞれのメニューを好きな人の数は分からないね。

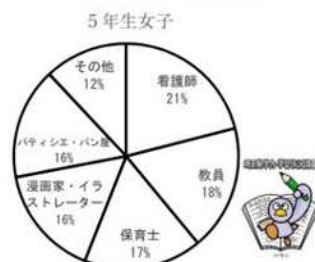
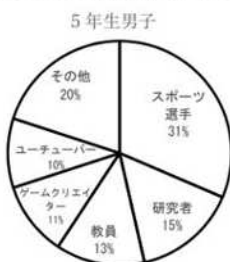
その後、表とグラフを見比べる活動を取り入れ、割合と人数の違いについて理解を深めさせる。

- 児童の気付きから、円グラフから読み取れることについて考えさせる活動を取り入れる。
- 円グラフは、全体をもとにした時の各部分の割合を見たり、部分同士の割合を比べたりするときに便利なものであることを確認する。また、各部分の量を求めるには、もとにする量が分からないと求められないことを児童同士や児童と教師の対話から気付かせる。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

② 次の円グラフは、小学校5年生の男子と女子の将来就きたい職業の割合を表したものです。次の問題に答えましょう。

レベル9



(1) 5年生女子全体が150人のとき、教員になりたい5年生女子の人数を求めましょう。

答え

人

(2) 研究者になりたいと答えた5年生男子は、21人でした。5年生男子全体の人数を求めましょう。

答え

人

【出典】R4 復習シート
 【小学6年生】データの活用
 レベル9

○ 調査問題

(6)ともなって変わる2つの数量が比例するものを、次のアからエの中から2つ選びなさい。

- ア 底辺 6 cm の三角形の高さと面積
- イ 正方形の1辺の長さとの面積
- ウ 面積が 18 cm^2 の平行四辺形の底辺の長さとの高さ
- エ 円の直径と円周の長さ

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】ともなって変わる2つの数量が比例するものを選ぶ

【出題の趣旨】比例の関係の意味や性質を理解している

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 ア・エと 解答	2 アと解答	3 エと解 答	4 アとエ以 外を解答	5 エとア以 外を解答	9 左記以外	0 無解答
反応率	23.8%	6.4%	4.5%	22.8%	20.0%	20.3%	2.1%

- 正答率は 23.8%であった。
- 主な誤答は、アに加えエ以外を解答しているもの (22.8%)、エに加えてア以外を解答しているもの (20.0%)、ア、エ以外を解答しているもの (20.3%) であった。
- 正答率が 23.8%と低いことから、文章の場面から伴って変わる二つの数量の関係を自ら捉えられず、**根拠をもって『比例』と判断できていない生徒が多い**ことが考えられる。また、解答類型の4、5、9に大きな偏りが見られないため、一方が変われば、もう一方も変わる関係を捉えたとしても、「**一方が増えれば、他方も増える関係が比例**」と捉えている生徒もいることが考えられる。

○ 指導上のポイント

根拠をもって比例と判断することができる指導

＜伴って変わる二つの数量の関係を自ら捉えられるようになる活動例＞

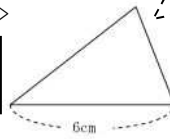
底辺が6 cmの三角形があります。一方が変われば、もう一方も伴って変わる数は何でしょう。



三角形で変わるの、辺の長さ、角度、面積、高さ…。

一方が変われば、もう一方も伴って変わるの面積と高さかな？

三角形の面積と高さはどのような関係になるのか、調べてみましょう。



実態に応じて、例えば「底辺が6 cmの三角形で、高さが変わると、それに伴って変わる数は何でしょう。」と問うてもよい。



「表」を提示したり、「比例」として示したりするのではなく、関数の関係にある数量は何かを考へることによって、自ら伴って変わる二つの数量の関係を捉えようとする姿勢を育てる。

二つの数量の関係を調べるには…表にすると分かりやすくなるかな。

三角形の高さ (cm)	1	2	3	4	5	6
三角形の面積 (cm ²)	3	6	9	12	15	18

一方が2倍、3倍…となるともう一方も2倍、3倍…になる。これは比例だ！

面積と高さの関係って、比例っぽいかな…。比例なら、グラフに表すと、直線になって、0を通るはず。グラフに表して確かめてみよう！

式に表すともっと関係が分かりやすいかな。

三角形の高さ (cm)	1	2	3	4	5	6
三角形の面積 (cm ²)	3	6	9	12	15	18

表から式をつくると…

$$y = 3 \times x \text{ になる。}$$

$y = \text{決まった数} \times x$ になるから比例だ！

伴って変わる二つの数量の関係を「表」「式」「グラフ」で表すことで、根拠をもって関係を捉えることができる。

＜本時を学習するまでに身に付けたい見方・考え方＞

第4学年【変わり方調べ】

- 表に整理すると、関係を見つけやすい。
- 一方を1、2、3…と整数で順に変化させると、もう一方の変化が見えやすい。
- 式に表すと数量の関係をすっきり表せる。

＜発展的な学習として＞

比例ではない二つの数量の関係を扱うことで「比例なのかどうか」を判断するために、「表」「式」「グラフ」に表す必要があることをより感じさせることができる。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

（「変化と関係」を問う問題）

1 次の問題を解きなさい。

(1) ともなって変わる二つの数量が比例するものをアからエの中から2つ選びなさい。 **レベル10**

- ア 正方形の1辺の長さとまわりの長さ
- イ 円の半径と円の面積
- ウ 面積が24 cm²の三角形の底辺の長さと高さ
- エ 時速40 kmで走る自動車の走る時間と道のり

【出典】R5 復習シート
【中学1年生】変化と関係
レベル10

1 1mの値段が70円のリボンがあります。このリボンを何m買った後、リボンを入れる30円の箱を1つだけ買います。リボンの長さをx m、そのとき代金の合計をy円とするとき、長さxと代金の合計を次のような表にまとめます。 **レベル9**

(1) 表のあいているところに数をあてはめなさい。

リボンの長さx (m)	1	2	3	4	5
代金の合計y (円)	100				

(2) リボンの長さと、リボンと箱の代金の合計の関係はどのようになりますか。下のアからエの中から1つ選びなさい。

- ア リボンの長さと代金の合計は、比例の関係になる。
- イ リボンの長さと代金の合計は、リボンの長さによっては比例の関係になることもある。
- ウ リボンの長さと代金の合計は、反比例の関係になる。
- エ リボンの長さと代金の合計は、比例の関係にも反比例の関係にもならない。

【出典】R4 復習シート【中学1年生】
変化と関係 レベル9

○ 調査問題

2 次の各問いに答えなさい。

(3) ある学校のバレーボール部員6人の身長を測定し、150.5cmのCさんを基準にして次のような表をつくりました。バレーボール部員6人の身長の平均を求めなさい。

	A	B	C	D	E	F
身長 (cm)	- 4.5	+ 1.6	0	+ 5.5	- 1.8	+ 2.8

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 仮の平均をもとに、平均を求める。

【出題の趣旨】 仮平均をもとに、平均を求めることができる。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 151.1 (cm) と 解答	2 0.6 (cm) と 解答	3 154.1 (cm) と 解答	9 左記以外	0 無解答
反応率	37.8%	1.5%	9.3%	43.1%	8.2%

- 正答率は37.8%であった。
- 主な誤答は、154.1 (cm) であった。理由としては、基準の150.5 (cm) にたしてしまっただということが考えられる。
- その他の誤答では、基準との差の合計や基準との差の平均を求める際に正しく計算できなかったことや、実際の身長を求めて計算し、実際の身長を用いて平均を求める計算が正しくできなかったと考えられるものが多かった。小数や正の数・負の数の四則計算の力をつけるとともに、仮平均を用いるなどの、計算の工夫をすることのよさに気づかせていく必要があると考えられる。

○ 指導上のポイント

小学校の学びをもとに、仮平均を用いる際に求めた値の意味を理解する指導

問題 よしおさんは、博物館で職場体験をしています。この博物館では、日曜日以外にも、一週間に一度、イベントの開催を計画しています。何曜日に開催すると多くの来場者がくると考えられますか。

日	月	火	水	木	金	土
	493	480	563	386	446	866
1741	502	477	571	394	430	840
1753	497	482	569	403	454	859
1810	482	501	610	377	438	871
1756	516	470	582			



曜日ごとの平均を求めればよいと思うよ。

数が大きいから計算が大変だよ。何か工夫ができないかな。

基準との差を使って考えることができないかな。
例えば、金曜日は基準を430人と考えてみようよ。

◎金曜日の入場者数の平均を求めよう。
(求め方)

$$16+0+24+8 = 48 \dots ①$$

基準との差

基準との差の合計

$$48 \div 4 = 12 \dots ②$$

基準との差の平均

$$430 + 12 = 442 \dots ③$$

430のように、基準にした値を **仮平均** という。

仮平均を440として求めてみよう。

(求め方)

入場者数 446 430 454 438

仮平均との差 +6 -10 +14 -2

仮平均との差の合計は、
(+6)+(-10)+(14)+(-2)
=+8

仮平均との差の平均は、
(+8)÷4 = +2

よって、平均は、442+2=442

《生徒の解答をもとに値の意味を確認する。》

①の式の16、0、24、8は何でしょうか。

基準との差です。

①の式では、何を求めているのでしょうか。

基準との差の合計です。

②の式では、何を求めているのでしょうか。

基準との差の平均です。

なぜ③の式のように、基準の430と12をたすのでしょうか。

12は基準をこえた値の平均だから、平均は430を加えた値になるからです。

対比できるように並べて板書

小中連携の視点

復習する際、求めた値の意味を再確認させることで、仮平均の値を変えても同様の手順で求めればよいことに気づかせる。

基準（仮平均）を用いて解決する手順を再確認させるとともに、仮平均を用いることで、小さい値の計算で求められるよさを実感させていきたい。



主体的、対話的で深い学びの視点

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

(「データの活用」を問う問題)

① 20こ入りのたまごの中から5こ取り出して重さをはかると、次のようでした。

59 g 54 g 58 g 50 g 54 g

レベル7

(1) 5このたまごの平均の重さを求めましょう。

答え

g

(2) たまご20この重さは何gになると考えられますか。

答え

g

【出典】R4 復習シート

【小学6年生】データの活用

レベル7

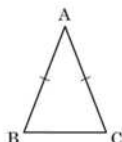
○ 調査問題

5 次の各問いに答えなさい。

(2) はやとさんは、「△ABCにおいて、 $AB = AC$ ならば、 $\angle ABC = \angle ACB$ である」ことを次のように証明しました。

はやとさんの考えた証明

$AB = AC$ となるように△ABCをかき、
 $\angle ABC$ と $\angle ACB$ の角度をそれぞれ測った
 ところ、 $\angle ABC$ と $\angle ACB$ は等しくなった。
 したがって、△ABCにおいて、 $AB = AC$
 ならば、 $\angle ABC = \angle ACB$ である。



はやとさんの考えた証明について、正しく述べているものを、次のアからエの中から1つ選びなさい。

ア $\angle ABC$ と $\angle ACB$ の角度を測って調べたので、証明できている。

イ 辺AB、ACの長さを変えて、 $\angle ABC$ と $\angle ACB$ の角度を測って等しくなることを確かめれば、証明したことになる。

ウ 辺AB、ACの長さを変えて、 $\angle ABC$ と $\angle ACB$ の角度を測って等しくなることを確かめたとしても、証明したことにはならない。

エ 辺BCの長さおよび $\angle BAC$ の角度を測らなければ、証明したことにはならない。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】示された証明について、正しく記述しているものを選ぶ。

【出題の趣旨】証明の必要性と意味を理解している。

○ 誤答分析

解答類型	1 アと解答	2 イと解答	③ 正答 ウと解答	4 エと解答	9 左記以外	0 無解答
反応率	23.8%	35.2%	27.1%	12.1%	0.0%	1.8%

- 正答率は27.1%であった。
- 主な誤答は、「イ」で35.2%であった。理由としては、図形の定理を証明するために必要な手順が、いくつかの具体例をもとに考察していくか、全てのパターンでいえるように考察していくかの違いが理解できていないということが考えられる。
- 「ア」や「エ」を選択した生徒は、目の前の図形のみを考えて、図形の性質を正確に整理できていないことが考えられる。指導する際は、いくつかの具体例を元に考察した証明には例外が考えられる可能性を示しつつ、全てのパターンでいえるように考察した証明を導くことで、例外なく結論が成り立つことよき気づかせたい。

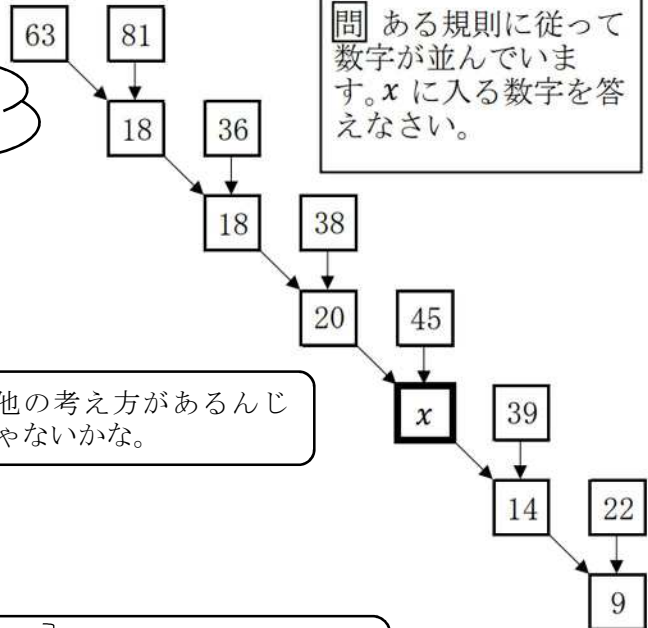
○ 指導上のポイント

いくつかの具体例をもとにした考察には、例外がある可能性に気づかせる指導

<右の問を考える>



81-63、36-18...この調子でいったら45-20で25だな



問 ある規則に従って数字が並んでいます。 x に入る数字を答えなさい。

<答えとその理由をグループで確認する>

わたしも25になったよ。

でも、この考え方だと最後は22-14で8になるね。



他の考え方があるんじゃないかな。

<全体で答え合わせおよび理由の説明をする>

<考えを深める>



①間違えてしまった原因
②みんなが納得する解き方の手順 } を考えてみよう。



①見つけた規則が全ての数に当てはまると思っていたよ!

②2桁の数の各位の数をたして、さらに矢印の方向にたすと次の数をもとめることができるね。だから x は11になるってことだね。この手順を説明すると、みんなが納得すると思うよ。



主体的、対話的で深い学びの視点

証明の学習の導入で具体例をもとにした考察には例外があることを経験することで、この後の学習においても、具体例をもとにした考察には例外があるかもしれないと振り返ることができる。また、全てのパターンでいえるように考察した証明の必要性和意味についても考えられるようにしたい。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

2 次のアからオの条件を満たす四角形ABCDをかきます。このとき、四角形ABCDが平行四辺形になるものを次のアからオの中からすべて選び、記号で答えなさい。ただし、点Oは四角形ABCDの対角線の交点とします。

レベル9

ア $\angle A + \angle B = 180^\circ$, $AD = BC$

イ $AO = 4\text{ cm}$, $BO = 5\text{ cm}$, $CO = 4\text{ cm}$, $DO = 5\text{ cm}$

ウ $AB = DC$, $AD \parallel BC$

エ $AB = CD$, $BC = DA$

オ $\angle A = \angle B$, $\angle C = \angle D$

答え

【出典】R5 復習シート

【中学3年生】図形

レベル9

3 英語

中学校 第2学年 英語 11 (1)

問題の学力のレベル
レベル 11-A

○ 調査問題

11 みどり市に住むあなたは、留学生のジェスからメッセージを受け取りました。この【メッセージ】とあなたが見つけた【ポスター】を読んで、(1)と(2)の質問に答えなさい。

【メッセージ】



【ポスター】

Midori City Tours*

Midori City has a lot of interesting things. We have two fun tours for people from other countries on Saturdays and Sundays.

South Tour

We meet at Minami Station and play basketball in Midori Park. Midori Park is closed on Saturdays. If you join the tour on Saturday, we visit the city library. Later, we go to the science museum.

North Tour

We meet at Kita Station and see beautiful pictures at the art center. The art center is closed on Sundays, so if you join the tour on Sunday, we watch a game in the baseball stadium. Later, we go to the history museum.

(注)* tour: ツアー

(1) ジェスの希望が全てかなうツアーに参加するとしたら、どのような予定になりますか。【ツアーの予定】の①、②に入るものを下のア～カから選び、その記号を答えなさい。ただし、選択肢はすべて使わなくてもかまいません。

- ア みどり公園
- イ アートセンター
- ウ 図書館
- エ 科学博物館
- オ 野球スタジアム
- カ 歴史博物館

【ツアーの予定】

集合 → →

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 英語の電子メールとポスターを照らし合わせて、情報を整理する。

【出題の趣旨】 電子メールとポスターを読んで、重要な内容やことがらを理解できる。

○ 誤答分析

解答類型	①正答 ①ア ②エと解答	9 正答以外の解答	0 無解答
反応率	26.9%	70.7%	2.2%

- 正答率は26.9%であった。
- 誤答は、多かった順に、①ア②オ、①ア②ウ、①オ②カであった。①ア②オと解答した理由としては、ポスターに1つのツアーが掲載されていると考え、Midori City Toursの下に集合場所、South Tourの下に①の場所、North Tourの下に②の場所が書かれていると考えたからであると考えられる。
- ①ア②ウと解答した理由としては、if節の入った文章の内容を理解できなかったからであると考えられる。①オ②カと解答した理由としては、watch a game in the baseball stadiumのwatchをplayと誤解してしまったからであると考えられる。

○ 指導上のポイント

必要な情報を読み取る力の指導

小中連携
の視点

めあて：ALTの先生の兄弟におすすめの観光スポットを紹介しよう。

昨日、去年のALTのPaul先生からメールが届きました。どんな内容かな。

【メールの内容】

Hello. I need your help. I have two brothers, Tom and Ben. They have a plan for a trip to Kobaton city. They are interested in Japanese culture. Please think of a good plan for them. Do you have a good place for my brother? Tom likes to watch sports. Ben is interested in Japanese anime....

Paul先生のメールからどんな情報が読み取れましたか。

なんかPaul先生困ってそうだな。

Paulさんの兄弟が日本に来るみたい。

Paulさんの兄弟は日本の文化に興味があるんだね。おすすめの旅行プランを考えればいいんじゃないかな。

そうですね。ポイントは今みんなが考えてくれたとおり、日本に来るPaulさんの兄弟におすすめの旅行プランを考えることですね。メールの情報をもとに、どこに行くのがいいのかを理由も含めて考えてみましょう。

【指導のポイント】

- ① 言語活動において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を明確に設定し、自分が必要とする情報（数字や天気などのキーワード）が何であるのかを意識させた上で、目的を持たせて読ませる。
- ② 本文を読む前に質問を読み（聞き）、予想をさせる。そして予想が合っているかどうか本文を読んで確認させる。
- ③ 生徒が小学生の時に、どのような教材を使って活動に取り組み、どの程度の情報を得ることができるようになっていくかを把握して指導に当たる。



主体的、対应的で
深い学びの視点

上記の指導を通して生徒に「読む必然性」を与えることで、生徒が主体的に考え、自ら課題を解決していこうとする態度の育成に繋がります。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

- 3 交換留学生のリサ(Lisa)と、その友人のタク(Taku)が友人のサトシ(Satoshi)の誕生日にむけて話をしています。会話を読んで、(1)～(3)の問いの答えとして最も適切なものをア～エの中からそれぞれ1つ選びなさい。

～ 英文 省略 ～

(3) リサとタクが、サトシに向けて送る手紙内の文章として適切なものはどれですか。

- ア You can buy a soccer ball for 10,000 yen.
イ You can enjoy soccer practice with your friends.
ウ You can watch a soccer game on TV.
エ You can get a green shoccer ball on the Internet.

【出典】R4 復習シート
【中学2年生】読むこと
レベル9

○ 調査問題

12 あなたは、地域の人の仕事について調べて英語の授業で発表することになりました。あなたが調べた以下の【情報】をもとに、中田さん (Ms. Nakata) について説明する英文が完成するように、【発表資料】の解答欄 (1)、(2) に入る最も適切な語句をそれぞれ書きなさい。

【情報】

中田さんの仕事について

- ◆ 仕事場所：図書館
- ◆ 毎日多くの人々が本を読みに来る
- ◆ 中田さんは人を助けるのが好き

【発表資料】

Ms. Nakata

・ Ms. Nakata (1) at the library.

・ Many people come to the library every day and read books.

・ She (2) people.



○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 与えられた情報に基づいて、人物を説明する英語を書く

【出題の趣旨】 与えられた情報に基づいて、人物の情報を正確に書くことができる。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 likes to help / likes helping	9 正答以外の解答	0 無解答
反応率	21.9%	59.4%	18.7%

- 正答率は21.9%であった。メモの情報をもとに、空欄に入る表現を考える問題である。主語が三人称単数であることから、動詞 like を変化させること、また、「助けるのが好き」という情報から、like to+動詞の原形か like+動名詞の表現にすることの2つに注意し、解答することが求められる。
- 主な誤答は、likes help や like help であった。誤答の原因としては、主語が三人称単数であることに着目していないことや、動詞 help が like の目的語になっていることに気付いていないことが挙げられる。
- 無解答率は18.7%であった。無解答の原因としては、「助けるのが好き」という日本語から、「助けることが好き」という日本語に変換できず、like to+動詞の原形、または like+動名詞の表現を使うことに結び付けられなかったため、書くことを断念してしまったと考えられる。日頃の言語活動において、内容面、言語材料面についての中間指導（言語活動と言語活動の間に行う指導）を充実させることが求められる。

○ 指導上のポイント

与えられた情報に基づいて英文を書く指導

表現力を高めるためには、日々の授業の中で生徒にとって関心のある事柄（お気に入りの人、好きなお菓子など）について、継続して言語活動に取り組ませる必要がある。その中で、生徒は伝え合ったり話したりした内容を書くことで、自己の表現力を高めていく。



Mr. Sato, do you like snacks?
I like Japanese snacks very much.

Yes, I like Japanese snacks too.

What do you recommend?

Oh, *Kobaton*-chips and *Kobaton* chocolate are good. They look cute.

先生たち、どんな話をしていたかな。

好きなお菓子の話をしていたな。

佐藤先生のおすすめのお菓子を言っていたよ。

そうですね。今日は、まず、自分が好きなお菓子の魅力について友達にプレゼンします。まず自分が好きなお菓子について友達と話してみましよう。

①提示された話題（例：自分の好きなお菓子について）について個で考える

どんなことを伝えようかな。

好きなお菓子について、いつ、どんな時に食べるのか、何で好きなのかも言おう。

②ペアで1分間、話題について英会話

I like *Kobaton* cookies. What snacks do you like?

Oh, you like *Kobaton* cookies...

③②の英会話の中で英語で言えなかった表現をタブレットで調べ、自分の単語帳に記録したり、言えなかった表現をクラスで共有し、既習事項で言える表現はないか等を、個人またはペアなどで考えさせることで、思考力・判断力・表現力の育成に繋げる。
【※②の活動に対する中間指導】

④ペアを変え（2～3人）、先ほど調べた単語を使って、表現の幅を広げる

⑤やり取りした相手から聞いた情報を、記録シートにまとめ、要約の writing 練習

中間指導の大切さ

上記の流れのように、自分で考えた後で相手に伝えようとした時、言いたいのに言えなかった言葉、表現に気付くことが大切です。その際、ICT 機器を使ってそれらを調べることで、既習表現を思い出したり、新しい表現に出会うことができます。また教師が生徒の対話的な言語活動を観察し、良い表現を全体で褒め共有すること（例：〇〇さんが I like fishing という表現を使っていたよ。真似してみようなど）や、誤りに対して説明やヒントを与えて適切な表現を考えさせること（例：like eat の表現が聞こえたのだけれど、どうなおせばいいかな？）が大切になります。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

1 次の表の（1）～（3）は、英語の先生の Mr.Smith に関する現在の情報です。
これらの情報を用いて、彼について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

- (1) 住んでいる都市・・・大阪 (Osaka)
(2) 年齢・・・35 歳
(3) 趣味・・・テニスをする

答え (1)
(2)
(3)

【出典】R2 復習シート
【中学3年】書くこと
レベル 11